

住まいに関する市民アンケート調査報告書

1. 調査目的

本調査は、長野市第三次住宅マスタープラン（長野市住生活基本計画）の策定にあたり、市民の住宅や住環境に対する意識、ニーズ等の調査を実施し、調査結果の集計及び分析結果を本計画に反映することにより、より実効性のある計画にすることを目的として実施した。

2. 調査設計

調査対象：市内に住む満 20 歳以上の男女

調査対象数：6,000 人

抽出方法：

- ・住環境の地域性を考慮して市内を 6 地域に区分し、地域内人口に一定の係数を乗じること
で、地域ごとの抽出数を算出した。
- ・20 歳～50 歳代、60 歳以上の調査対象者を各年代 1,200 人として、住民基本台帳から無作為抽出した。

【地域区分】
長野市Ⅰ：第一～第五地区
長野市Ⅱ：芹田、古牧、三輪、吉田
長野市Ⅲ：古里、柳原、浅川、大豆島、朝陽、若槻、長沼、安茂里、豊野
長野市Ⅳ：篠ノ井、川中島、更北
長野市Ⅴ：松代、若穂
長野市Ⅵ：小田切、芋井、七二会、信更、戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条

調査方法：郵送による配布・回収

記入方式：無記名回答方式

調査期間：平成 28 年 8 月 10 日（水） ～ 8 月 31 日（水）

3. 回収結果

◆配布数：6,000 通 有効回収数：2,042 通 回収率：34.0%

◆地域別の配布数・回収数

地域区分	地 区	配布数	回収数	回収率
長野市Ⅰ	第一～第五地区	500	241	48.2%
長野市Ⅱ	芹田、古牧、三輪、吉田	1,371	384	28.0%
長野市Ⅲ	古里、柳原、朝陽、大豆島、浅川、若槻、長沼、安茂里、豊野	1,719	560	32.6%
長野市Ⅳ	篠ノ井、川中島、更北	1,630	552	33.9%
長野市Ⅴ	松代、若穂	480	156	32.5%
長野市Ⅵ	小田切、芋井、七二会、信更、戸隠、鬼無里 大岡、信州新町、中条	300	117	39.0%
	無回答	-	32	-
合 計		6,000	2,042	34.0%

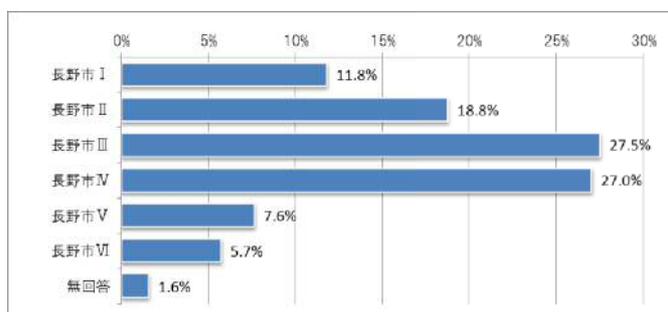
◆年代別（回答者）の配布数・回収数

年代区分	配布数	回収数	回収率
20歳代	1,200	227	18.9%
30歳代	1,200	347	28.9%
40歳代	1,200	404	33.7%
50歳代	1,200	468	39.0%
60歳以上	1,200	592	49.3%
無回答	-	4	-
合計	6,000	2,042	34.0%

4. 回答者の属性

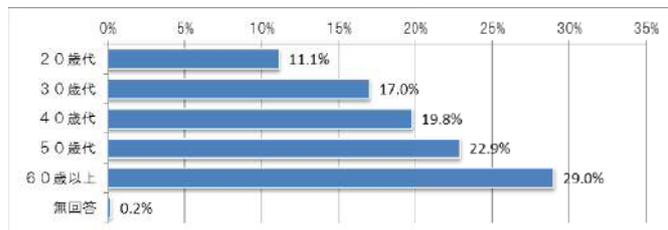
◆居住地域

選 択 肢	回答数	構成比
長野市Ⅰ	241	11.8%
長野市Ⅱ	384	18.8%
長野市Ⅲ	560	27.5%
長野市Ⅳ	552	27.0%
長野市Ⅴ	156	7.6%
長野市Ⅵ	117	5.7%
無回答	32	1.6%
合計	2,042	100.0%



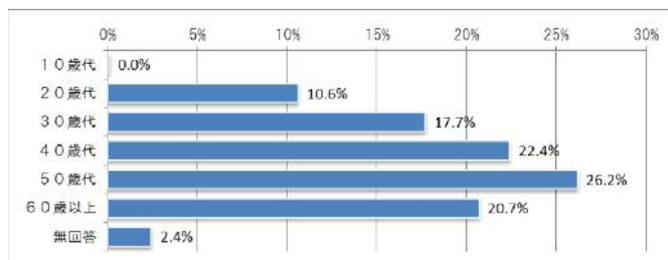
◆回答者の年代

選 択 肢	回答数	構成比
20歳代	227	11.1%
30歳代	347	17.0%
40歳代	404	19.8%
50歳代	468	22.9%
60歳以上	592	29.0%
無回答	4	0.2%
合計	2,042	100.0%



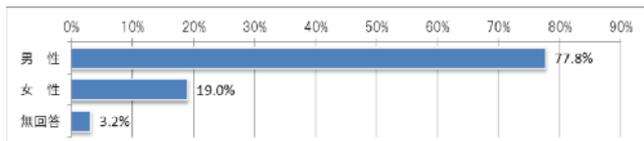
◆世帯の働き手（世帯主）の年代

選 択 肢	回答数	構成比
10歳代	1	0.0%
20歳代	216	10.6%
30歳代	362	17.7%
40歳代	458	22.4%
50歳代	533	26.2%
60歳以上	423	20.7%
無回答	49	2.4%
合計	2,042	100.0%



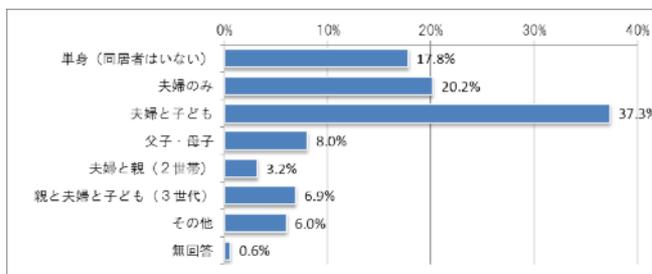
◆世帯の働き手（世帯主）の性別

選 択 肢	回答数	構成比
男 性	1,588	77.8%
女 性	389	19.0%
無回答	65	3.2%
合 計	2,042	100.0%



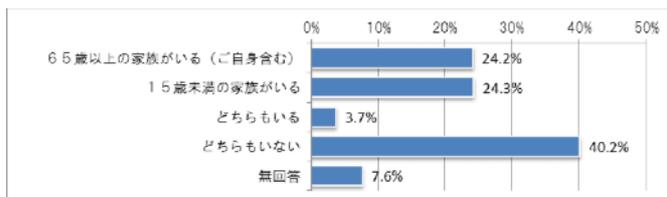
◆家族構成

選 択 肢	回答数	構成比
単身（同居者はいない）	363	17.8%
夫婦のみ	413	20.2%
夫婦と子ども	760	37.3%
父子・母子	164	8.0%
夫婦と親（2世帯）	66	3.2%
親と夫婦と子ども（3世代）	141	6.9%
その他	123	6.0%
無回答	12	0.6%
合 計	2,042	100.0%



◆高齢者及び子どもとの同居

選 択 肢	回答数	構成比
65歳以上の家族がいる（ご自身含む）	494	24.2%
15歳未満の家族がいる	497	24.3%
どちらもいる	75	3.7%
どちらもいない	820	40.2%
無回答	156	7.6%
合 計	2,042	100.0%



集 計 結 果

1. 住宅について

ポイント 「一戸建ての持家」が62.5%、「民間の賃貸共同住宅」が19.7%

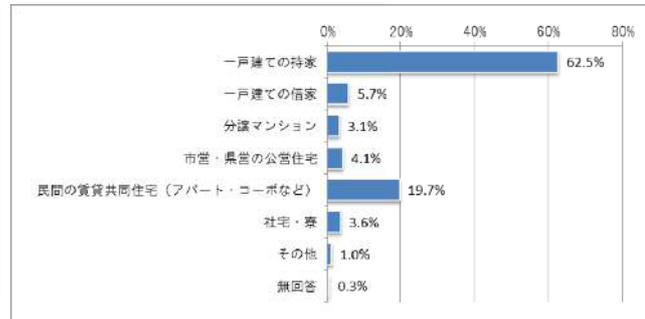
ポイント 30～40歳代から持家取得が増加（40歳代から持家率と借家率が反転）

- ・ 居住する住宅は、「一戸建ての持家」が62.5%と最も多く、「民間の賃貸共同住宅（アパート・コーポ等）」が19.7%と続き、最も少ないものは「分譲マンション」の3.1%となった。
- ・ 20～30歳代は民間の賃貸共同住宅が多く（58.6%、37.2%）、30～40歳代から、「一戸建ての持家」が増加。特に60歳以上では「一戸建ての持家」が多く86.9%となった。
- ・ 「分譲マンション」の割合が最も高い年代は50歳代で4.5%、「市営・県営の公営住宅」の割合が最も高い年代も50歳代で5.3%となった。

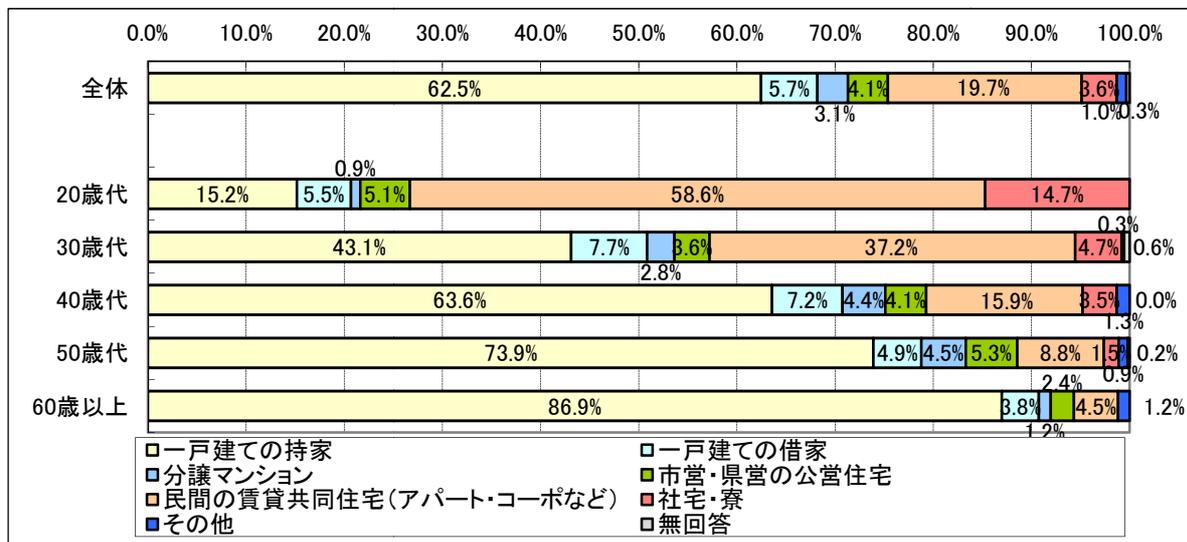
問6 あなたのご自宅は次のうちどれですか。（○は1つだけ）

◆全体集計

選 択 肢	回答数	構成比
一戸建ての持家	1,275	62.5%
一戸建ての借家	117	5.7%
分譲マンション	64	3.1%
市営・県営の公営住宅	83	4.1%
民間の賃貸共同住宅（アパート・コーポなど）	403	19.7%
社宅・寮	73	3.6%
その他	20	1.0%
無回答	7	0.3%
合 計	2,042	100.0%



◆クロス集計1：住宅種別【世帯の働き手（世帯主）の年代別】



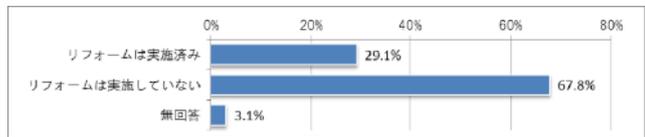
ポイント 平成2年(築25年以上)までに建築された持家のリフォーム実施率は約50%

- ・ 持家居住者のリフォーム実施状況は、「実施済み」が29.1%、「実施していない」が67.8%となった。
- ・ 年代別のリフォーム実施状況では、「実施済み」が多い年代は60歳以上の40.5%となった。
- ・ 平成2年までに建築された住宅では、約半数がリフォーム実施済みとなった。

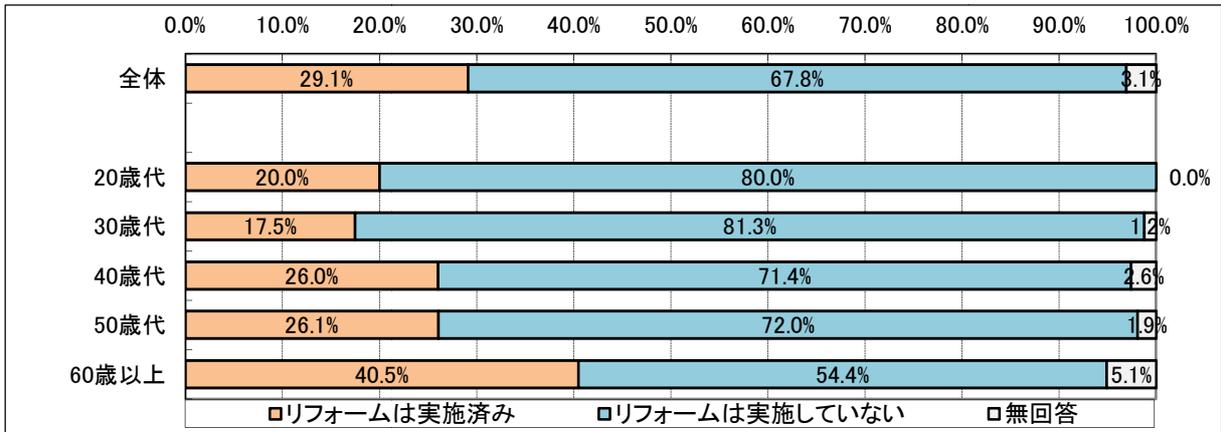
問6-1 ご自宅が持家の方(問6で「1. 一戸建ての持家」又は「3. 分譲マンション」を選ばれた方)にお伺いします。
 リフォームの実施状況は次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

◆全体集計

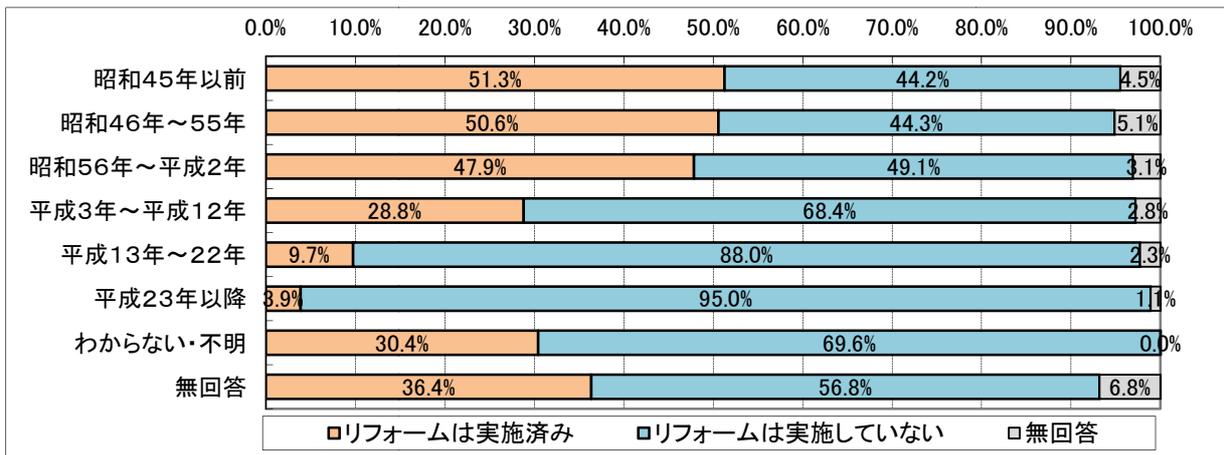
選 択 肢	回答数	構成比
リフォームは実施済み	390	29.1%
リフォームは実施していない	908	67.8%
無回答	41	3.1%
合 計	1,339	100.0%



◆クロス集計1：リフォーム実施状況【世帯の働き手(世帯主)の年代別】



◆クロス集計2：リフォーム実施状況【住宅の建築年別】



ポイント 民間の賃貸共同住宅や公営住宅は一戸建て住宅に比べ狭い

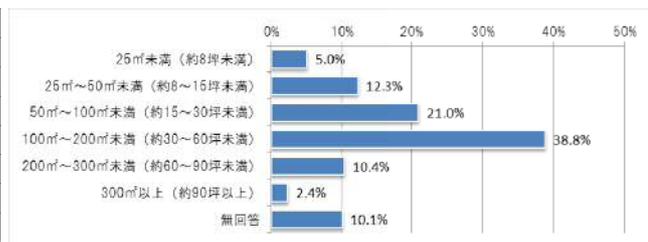
ポイント 子育て世帯が居住する住宅は狭い

- ・ 住宅の広さは、「100㎡～200㎡未満（約30～60坪未満）」が38.8%と最も多く、「50㎡～100㎡未満（約15～30坪未満）」が21.0%と続く。
- ・ 住宅種別では、一戸建て持家が最も広く、一戸建て借家、分譲マンションが続く、20～30歳代が多く居住する民間の賃貸共同住宅や公営住宅は大幅に狭い結果となった。
- ・ 家族構成別では、夫婦と親（2世帯）世帯は、夫婦と子ども世帯に比べ、広い住宅に居住している傾向が見られる。
- ・ 65歳以上の高齢者がいる世帯では、100㎡以上が80%近くを占め、15歳未満の子どもがいる世帯では、約40%が100㎡未満の住宅に居住となった。

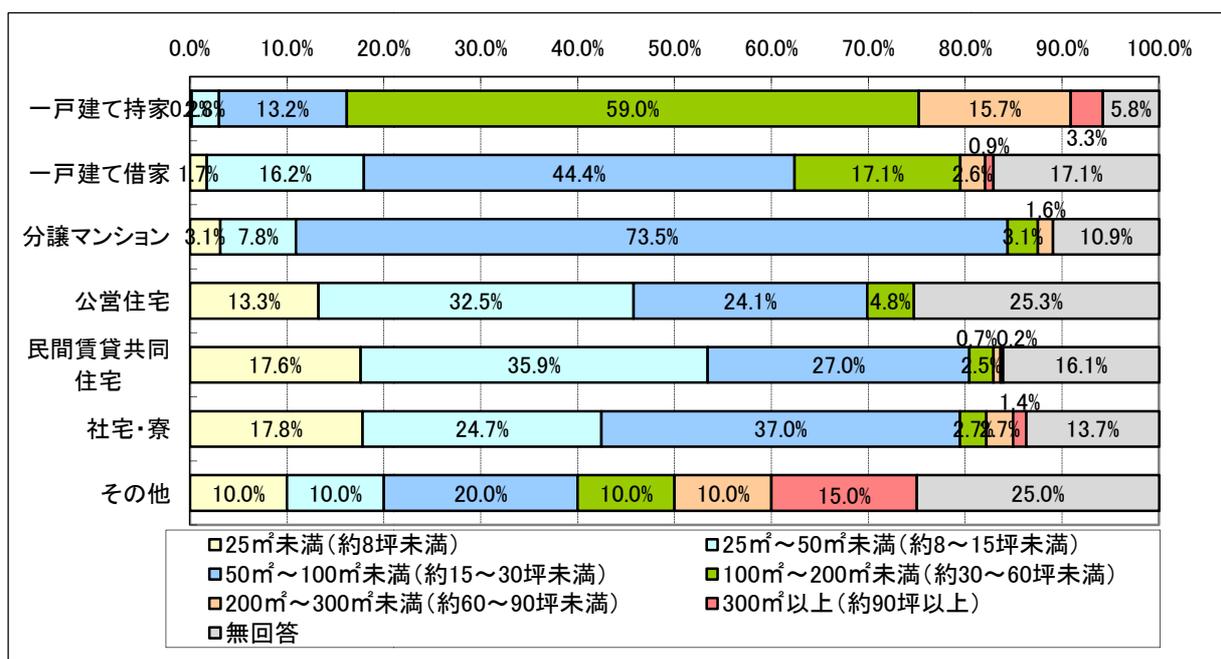
問7 あなたのご自宅の広さ（床面積の合計）はどのくらいですか。（○は1つだけ）

◆全体集計

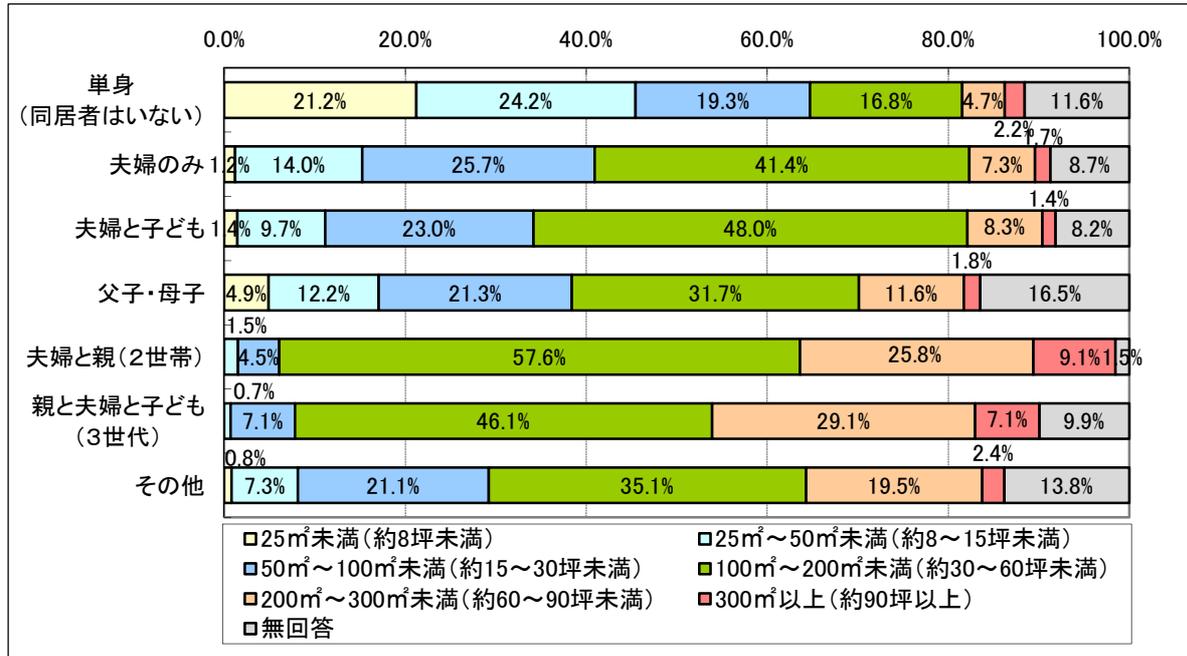
選 択 肢	回答数	構成比
25㎡未満（約8坪未満）	103	5.0%
25㎡～50㎡未満（約8～15坪未満）	251	12.3%
50㎡～100㎡未満（約15～30坪未満）	428	21.0%
100㎡～200㎡未満（約30～60坪未満）	794	38.8%
200㎡～300㎡未満（約60～90坪未満）	212	10.4%
300㎡以上（約90坪以上）	48	2.4%
無回答	206	10.1%
合 計	2,042	100.0%



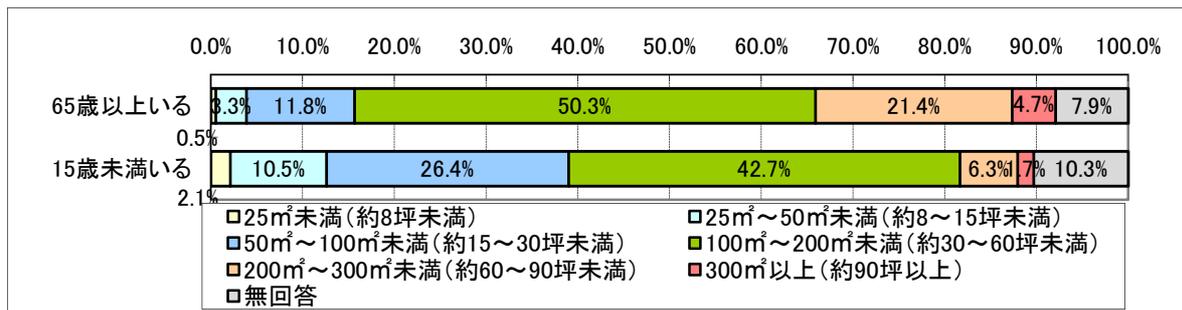
◆クロス集計1：住宅の広さ【住宅種別】



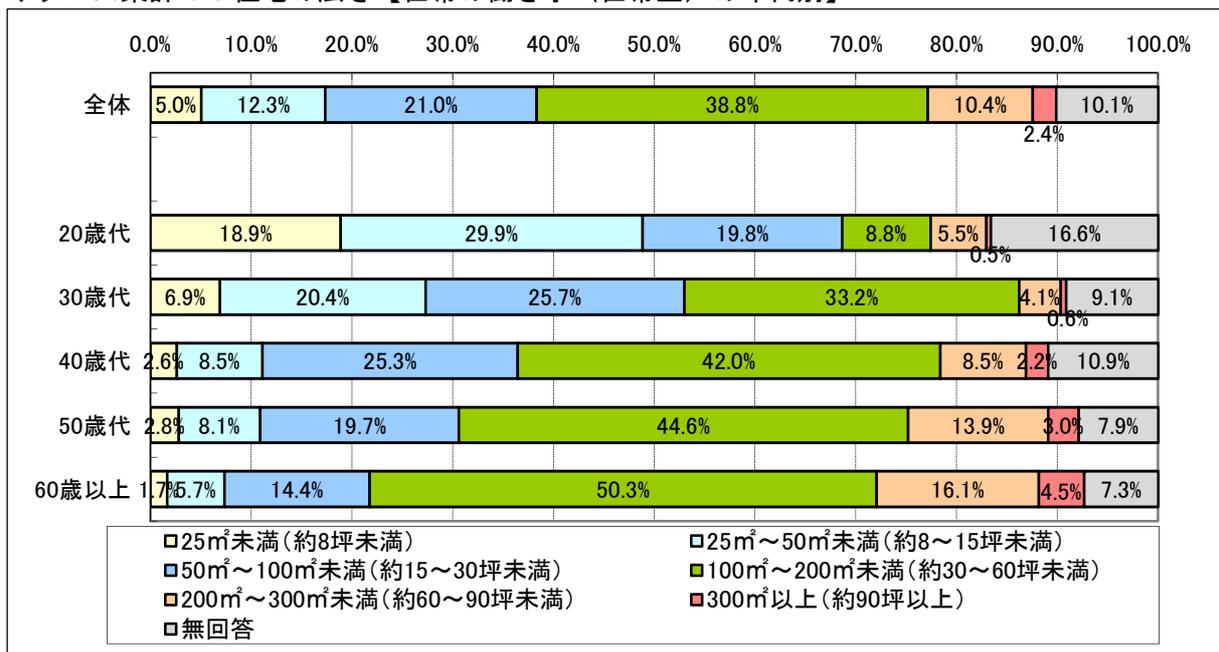
◆クロス集計2：住宅の広さ【家族構成別】



◆クロス集計3：住宅の広さ【高齢者・子どもがいる世帯別】



◆クロス集計4：住宅の広さ【世帯の働き手(世帯主)の年代別】



ポイント 建築基準法改正前（旧耐震基準）に建築された住宅は 20.4%

ポイント 長野市VIでは建築基準法改正前（旧耐震基準）に建築された住宅が 43%

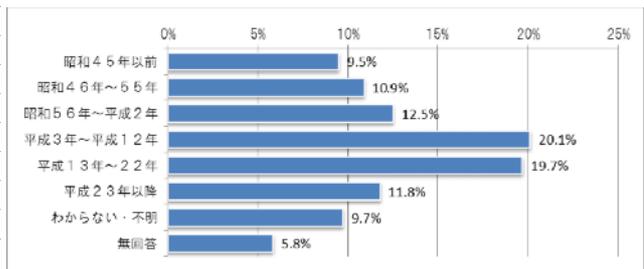
ポイント 世帯主が 60 歳以上では約 45%が旧耐震基準で建築された住宅に居住

- ・ 住宅の建築年は、「平成 3 年～平成 12 年」が 20.1%と最も多く、「平成 13 年～22 年」の 19.7%が続き、建築基準法改正前（旧耐震基準）に建築された住宅は、20.4%となった。
- ・ 地域別では、長野市IIや長野市IVは、平成 3 年以降に建築された住宅の割合が他地域より多く、宅地分譲や区画整理事業などの住宅地整備が多かったことが推測される。
- ・ 長野市Iや長野市Vでは平成 23 年以降に建築された住宅が多く、長野市VIでは建築基準法が改正された昭和 55 年以前に建築された住宅の割合が 43%と多い。
- ・ 年代別では、世帯主の年代が上がるほど、昭和 55 年以前（旧耐震基準）に建築された住宅の割合が多い。

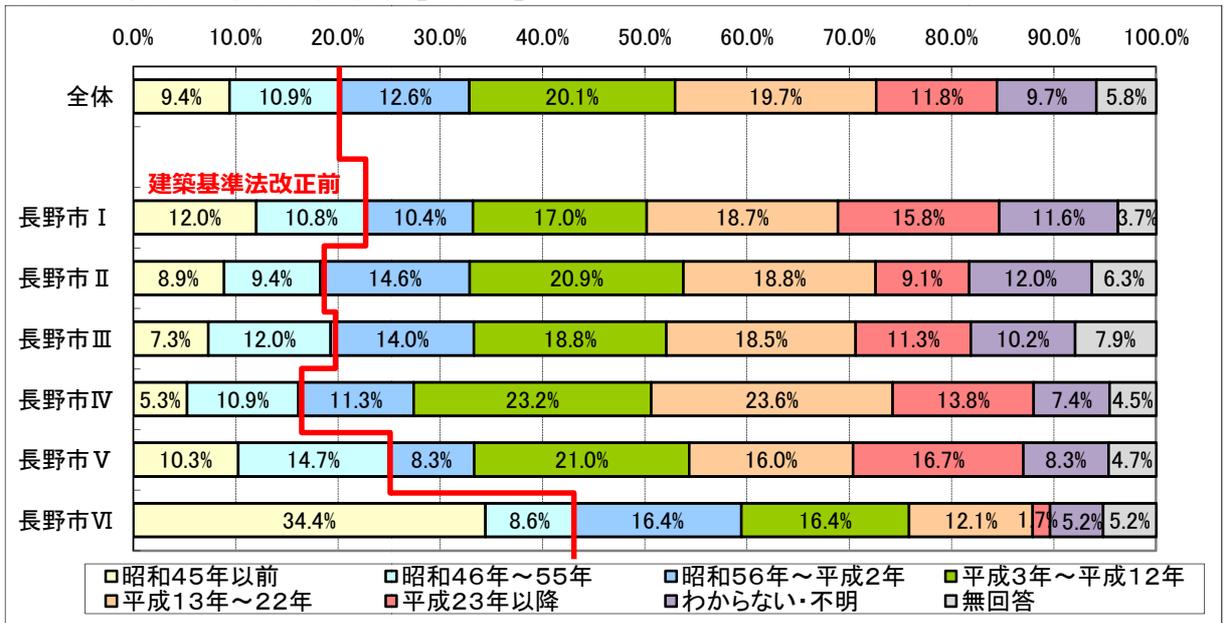
問 8 あなたのご自宅の建築年はいつですか。（〇は1つだけ）

◆全体集計

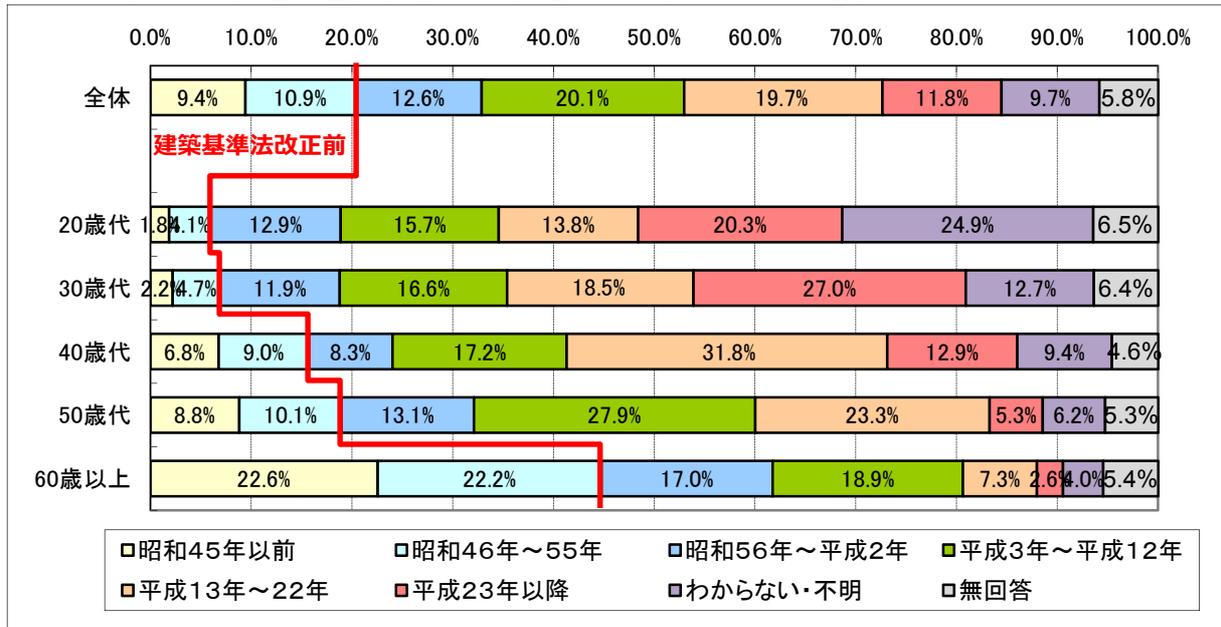
選 択 肢	回答数	構成比
昭和45年以前	193	9.5%
昭和46年～55年	222	10.9%
昭和56年～平成2年	256	12.5%
平成3年～平成12年	411	20.1%
平成13年～22年	402	19.7%
平成23年以降	241	11.8%
わからない・不明	198	9.7%
無回答	119	5.8%
合 計	2,042	100.0%



◆クロス集計 1：住宅の建築年【地域別】



◆クロス集計2：住宅の建築年【世帯の働き手（世帯主）の年代別】



ポイント 居住する住宅は木造住宅が約 64%

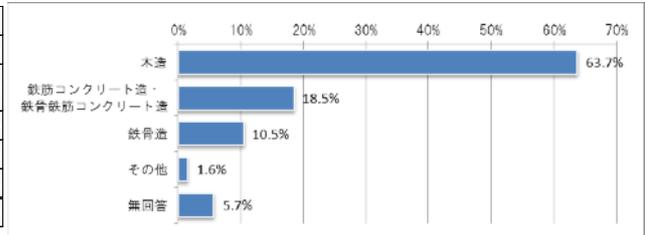
ポイント 建築基準法改正前（旧耐震基準）に建築された住宅の約 87%は木造

- ・ 住宅の構造では、木造が 63.7%、次いで「鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造」の 18.5%となった。
- ・ 昭和 55 年以前に建築された住宅の構造は、木造が 87.4%と大半を占めている。

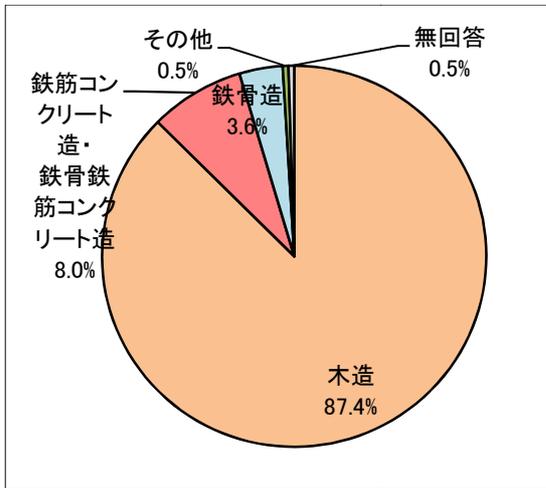
問 9 あなたのご自宅の構造は次のうちどれですか。（○は1つだけ）

◆全体集計

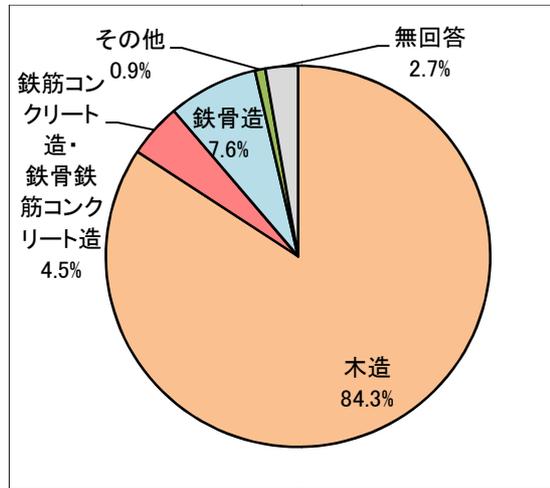
選 択 肢	回答数	構成比
木造	1,301	63.7%
鉄筋コンクリート造・ 鉄骨鉄筋コンクリート造	378	18.5%
鉄骨造	214	10.5%
その他	32	1.6%
無回答	117	5.7%
合 計	2,042	100.0%



◆クロス集計 1：旧耐震基準（昭和 55 年以前）で建築された住宅の構造



◆クロス集計 2：一戸建て持家の構造



2. 住宅の安心・安全

ポイント 60歳以上では住宅の耐震性に不安を感じている方が約54%

ポイント 耐震性に不安を感じている方の住宅は、約73%が木造住宅

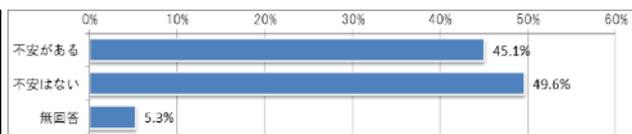
- ・ 住宅の耐震性に「不安がある」は45.1%、「不安はない」は49.6%となり、わずかに「不安はない」が多い。
- ・ 長野市VIでは住宅の耐震性に「不安がある」は58.6%と多く、「不安はない」は36.2%となった。長野市Vでは「不安がある」は36.5%と他地域に比べ低い。
- ・ 回答者の年代別では、「不安がある」は20歳代が最も少なく、年齢が上がるほど住宅の耐震性に「不安がある」の割合が増加。特に60歳以上では53.7%が不安を感じている。
- ・ 住宅の耐震性に「不安がある」と答えた回答者の住宅の構造は、「木造」が72.9%を占め、「鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造」でも15.3%となった。
- ・ 「不安がある」と答えた回答者の住宅の建築年は、「昭和55年以前」が36.9%、であり、「平成3年～平成22年」でも25.5%となった。
- ・ 昭和55年以前に建築された住宅（一戸建ての持家）の居住者の耐震性に対する不安感については、「不安がある」は83.4%となった。

問10 現在住んでいる住宅の耐震診断・耐震改修について、A～Cの項目ごとに、該当するものを選んでください。（○はA、B、Cごとに1つだけ）

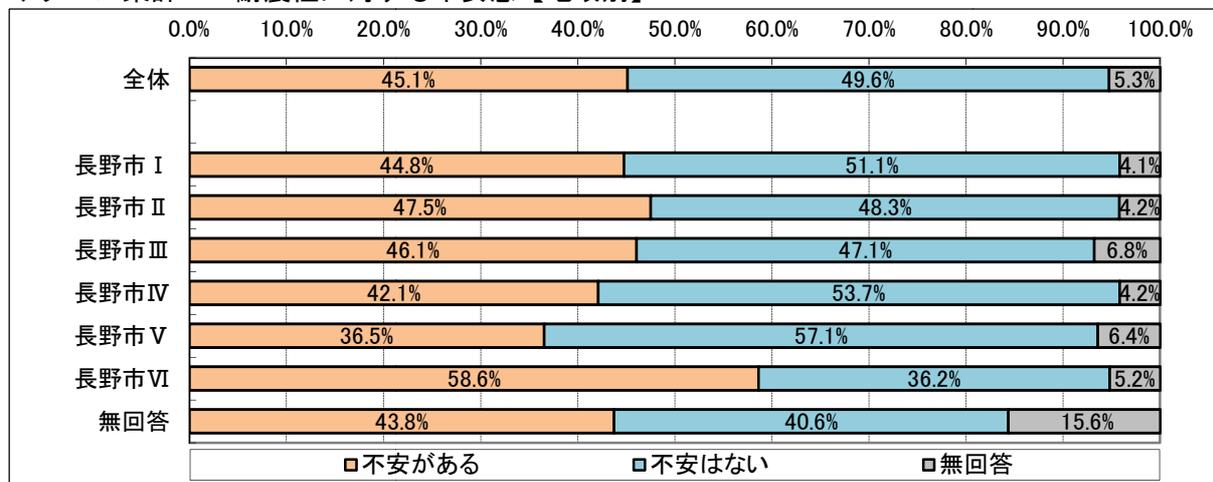
◆全体集計

A 耐震性

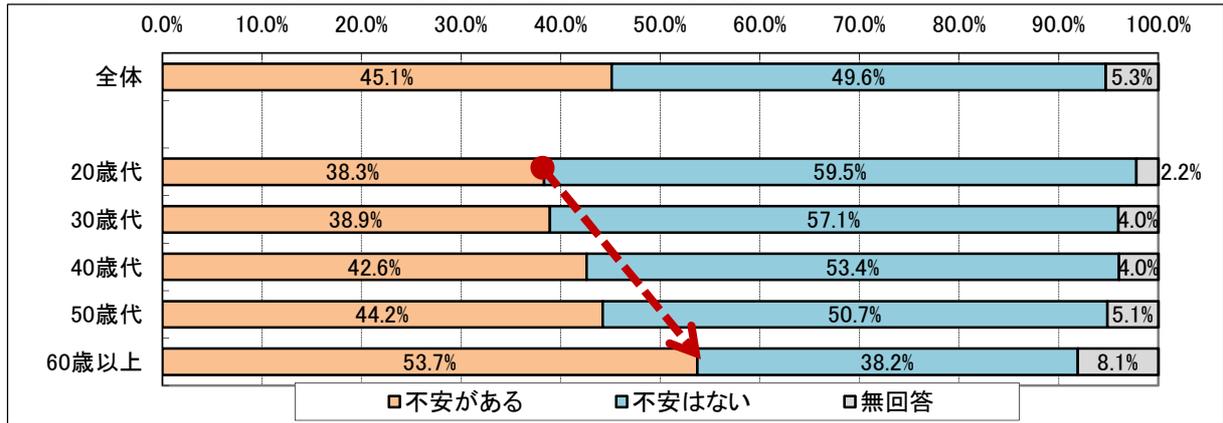
選 択 肢	回答数	構成比
不安がある	921	45.1%
不安はない	1,013	49.6%
無回答	108	5.3%
合 計	2,042	100.0%



◆クロス集計1：耐震性に対する不安感【地域別】

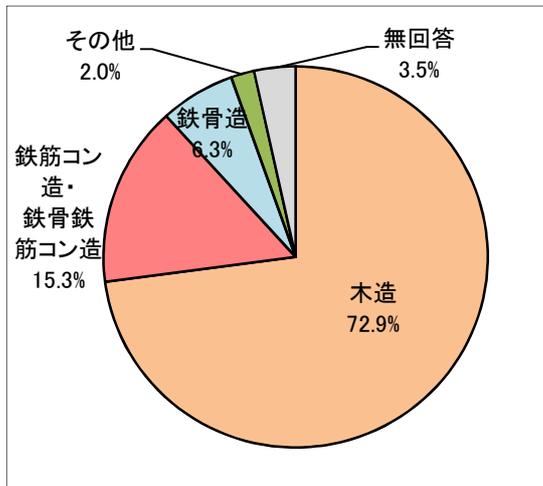


◆クロス集計2：耐震性に対する不安感【回答者の年代別】



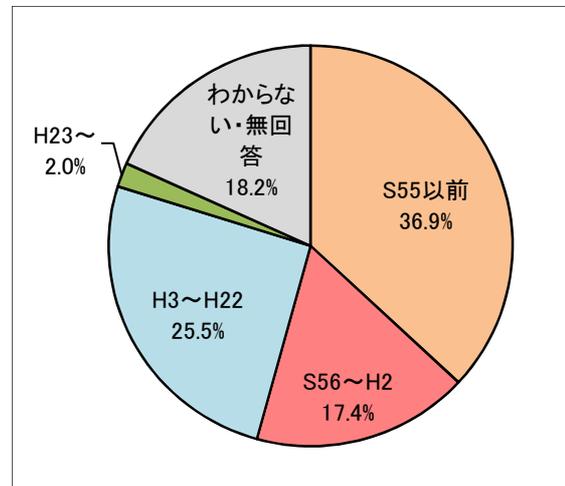
◆クロス集計3：

住宅の構造【不安があると回答した方】



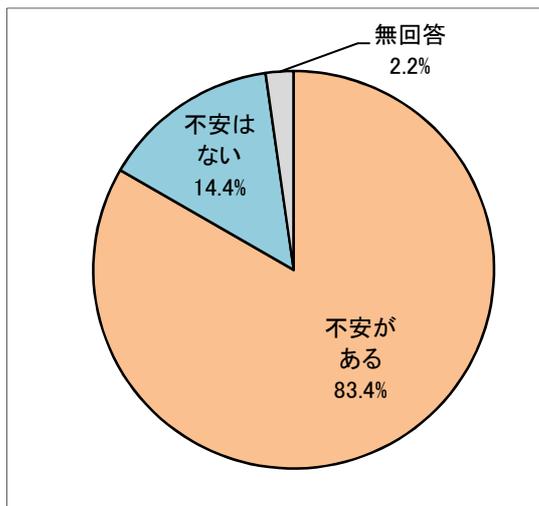
◆クロス集計4：

住宅の建築年【不安があると回答した方】



◆クロス集計5：

耐震性に対する不安感【昭和55年以前に建築された住宅（一戸建て持家）の居住者】



ポイント 居住する住宅の耐震性を確認しているのは約 38%、確認していないは約 54%

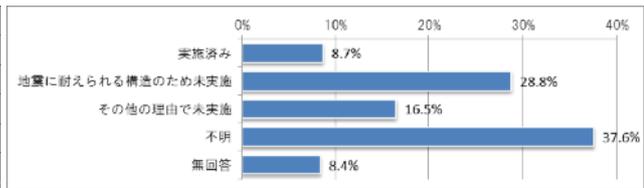
ポイント 耐震診断に対する考え方は年代によって異なる

- 住宅の耐震診断は、「実施済み」が 8.7%、「地震に耐えられる構造のため未実施」が 28.8%、合わせて 37.5%が居住する住宅の耐震性を確認している。
- 「不明」が 37.6%、「その他の理由で未実施」が 16.5%、合わせて 54.1%が居住する住宅の耐震性を確認していない。
- 回答者の年代別では、「不明」が 20 歳代では 72.3%、30 歳代では 52.4%と多く、耐震診断に対する考え方は年代によって異なる。
- 60 歳以上では「その他の理由で未実施」が 28.9%、様々な理由で耐震診断を実施していない。
- 昭和 55 年以前に建築された住宅（一戸建ての持家）の耐震診断の実施状況については、「その他の理由で未実施」が 46.5%となった。

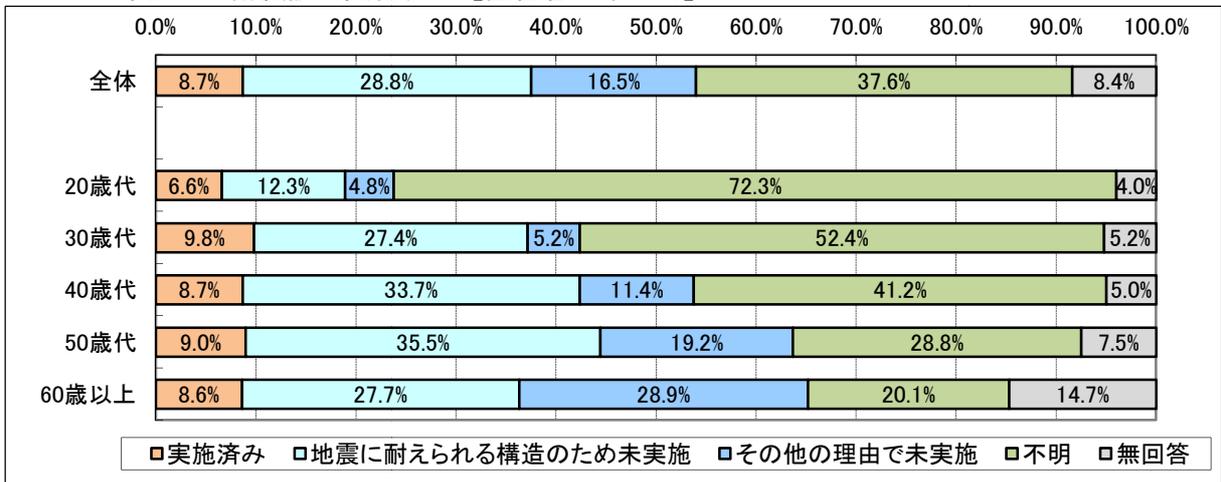
◆全体集計

B 耐震診断

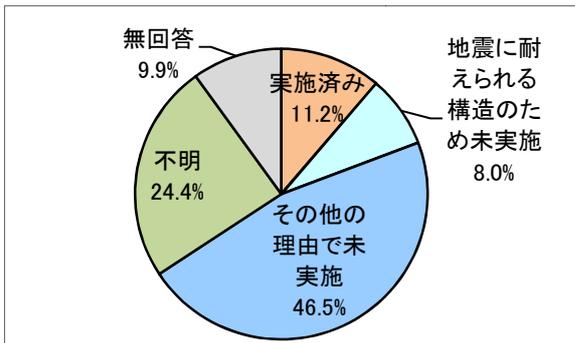
選 択 肢	回答数	構成比
実施済み	177	8.7%
地震に耐えられる構造のため未実施	590	28.8%
その他の理由で未実施	337	16.5%
不明	767	37.6%
無回答	171	8.4%
合 計	2,042	100.0%



◆クロス集計 1：耐震診断実施状況【回答者の年代別】



◆クロス集計 2：耐震診断実施状況【昭和 55 年以前に建築された住宅（一戸建て持家）の居住者】



ポイント 居住する住宅の耐震性を確保しているは約 36%、確保していないは約 54%

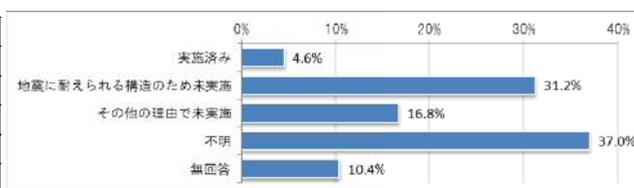
ポイント 旧耐震基準で建築された住宅の約 48%が、その他の理由で未実施

- ・住宅の耐震改修は、「実施済み」が 4.6%、「地震に耐えられる構造のため未実施」が 31.2%、合わせて 35.8%が居住する住宅の耐震性を確保している。
- ・「不明」が 37.0%、「その他の理由で未実施」が 16.8%、合わせて 53.8%が居住する住宅の耐震性を確保していない。
- ・地域別では、住宅の耐震性に不安を感じている方が多い長野市VIでは、「その他の理由で未実施」が 25.0%であり、他地域に比べて高い結果となっている。
- ・昭和 55 年以前に建築された住宅（一戸建ての持家）の耐震改修の実施状況は、「その他の理由で未実施」が 48.1%となった。

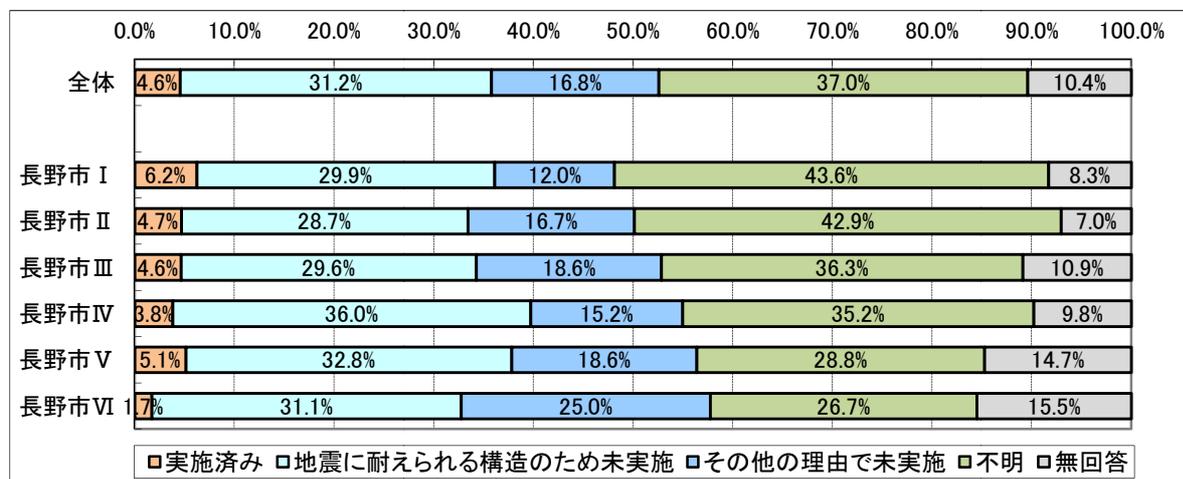
◆全体集計

C 耐震改修

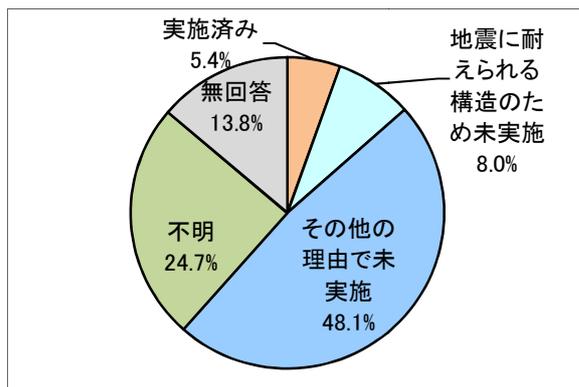
選 択 肢	回答数	構成比
実施済み	93	4.6%
地震に耐えられる構造のため未実施	638	31.2%
その他の理由で未実施	343	16.8%
不明	756	37.0%
無回答	212	10.4%
合 計	2,042	100.0%



◆クロス集計 1：耐震改修実施状況【地域別】



◆クロス集計 2：耐震改修実施状況【昭和 55 年以前に建築された住宅（一戸建て持家）の居住者】



ポイント 住宅に関連した防災対策の実施が少ない

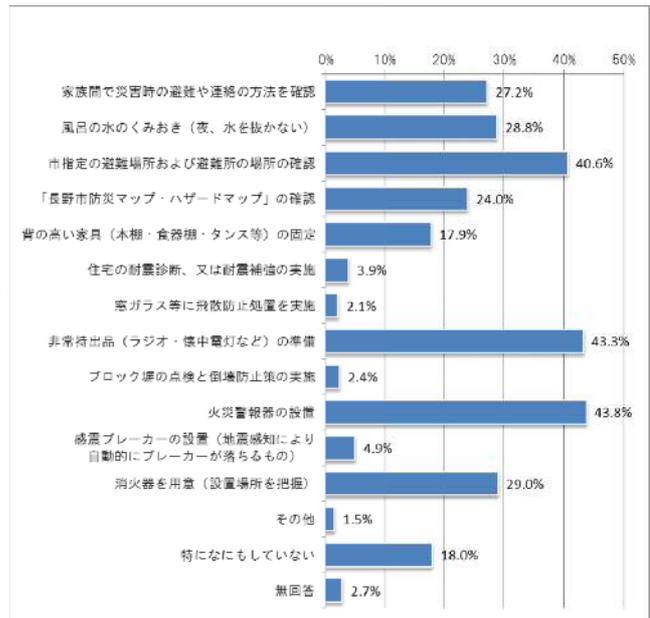
ポイント 住宅の耐震診断、又は耐震補強の実施について、高い年代ほど関心がある

- ・防災対策の実施としては、「火災警報器の設置」の43.8%が最も多く、次いで「非常持ち出し品（ラジオ・懐中電灯など）の準備」が43.3%、「市指定の避難場所および避難所の場所の確認」の40.6%となった。
- ・住宅に関連した回答では、「背の高い家具（本棚・食器棚・タンス等）の固定」が17.9%、「住宅の耐震診断、又は耐震補強の実施」は3.9%、「窓ガラス等に飛散防止処置を実施」は2.1%と少ない。
- ・「特に何もしていない」は、50歳代が22%と最も多いものの、各年代とも多い。
- ・「住宅の耐震診断、又は耐震補強の実施」は、高い年代ほど関心がある傾向となった。

問11 あなたのご家庭ではどのような防災対策を実施していますか。（あてはまるものすべてに○）

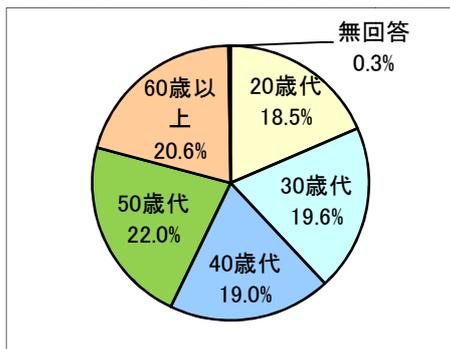
◆全体集計（複数回答：有効回答数2,042）

選 択 肢	回答数	構成比
家族間で災害時の避難や連絡の方法を確認	555	27.2%
風呂の水のくみおき（夜、水を抜かない）	589	28.8%
市指定の避難場所および避難所の場所の確認	830	40.6%
「長野市防災マップ・ハザードマップ」の確認	490	24.0%
背の高い家具（本棚・食器棚・タンス等）の固定	365	17.9%
住宅の耐震診断、又は耐震補強の実施	79	3.9%
窓ガラス等に飛散防止処置を実施	43	2.1%
非常持出品（ラジオ・懐中電灯など）の準備	884	43.3%
ブロック塀の点検と倒壊防止策の実施	48	2.4%
火災警報器の設置	894	43.8%
感震ブレーカーの設置（地震感知により自動的にブレーカーが落ちるもの）	100	4.9%
消火器を用意（設置場所を把握）	593	29.0%
その他	30	1.5%
特に何もしていない	368	18.0%
無回答	56	2.7%
合 計	5,924	-



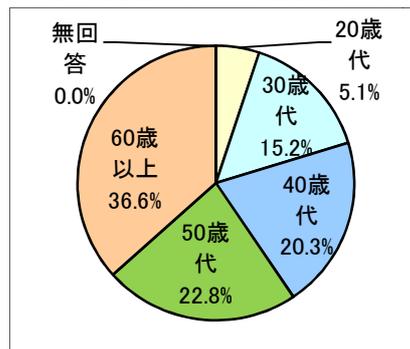
◆クロス集計1：

「特に何もしていない」【回答者の年代別】



◆クロス集計2：

「住宅の耐震診断、又は耐震補強の実施」【回答者の年代別】



3. 住宅・住環境に対する評価

(1) 住宅の評価

ポイント 全体的に評価は高いものの、障害者や高齢化への対応について評価は低い

- ・ 全体的にプラス評価（満足が上回っている）となったが、唯一「⑪障害者や高齢化への対応（段差など）」がマイナス評価（不満が上回っている）となった。
- ・ 特に評価が高い項目は、「①住宅の広さ」や「②間取り」「⑩駐車場と駐輪場」となった。
- ・ 比較的评价が低い項目は、「④耐震性」「⑦遮音性」「⑧断熱性」となった。

問 12 現在住んでいる住宅についてあなたはどの程度満足されていますか。
 1～12 の各項目ごとに「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」のなかから、該当するものを1つずつ選んでください。

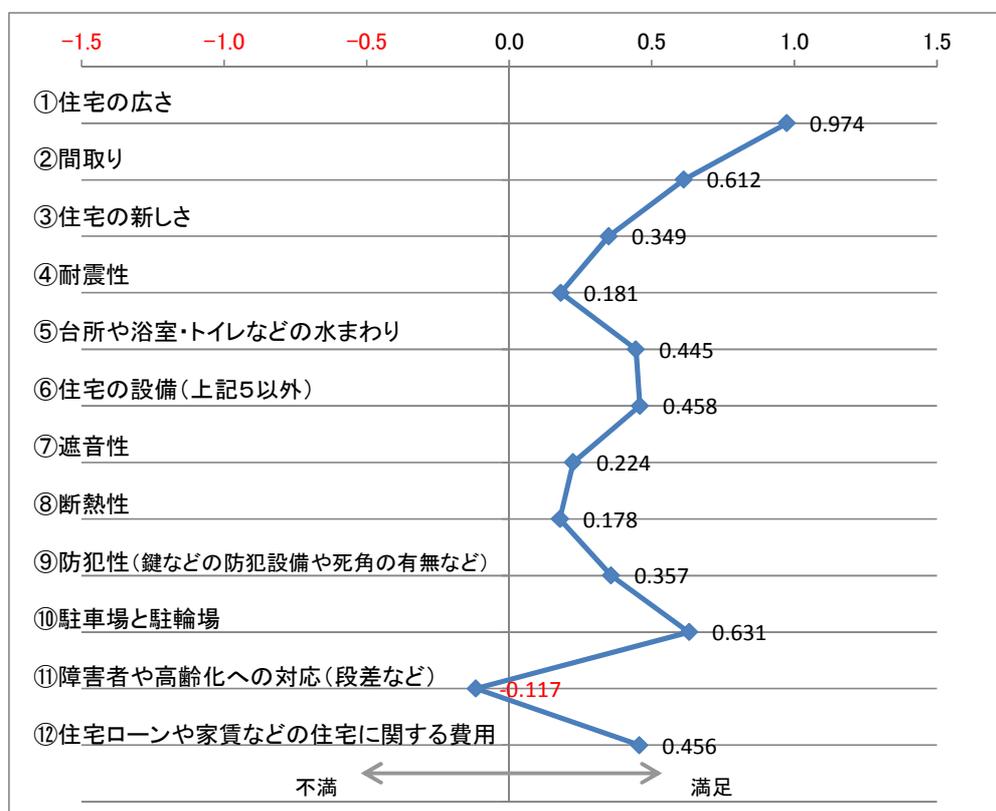
【満足・不満評価グラフの見方】

- ◆評価ポイントが+（プラス側：右）にあるほど「満足」、-（マイナス側：左）にあるほど「不満」
- ◆評価ポイントの集計方法

$$\text{「満足」} \times 2 \text{点} + \text{「やや満足」} \times 1 \text{点} + \text{「やや不満」} \times -1 \text{点} + \text{「不満」} \times -2 \text{点}$$

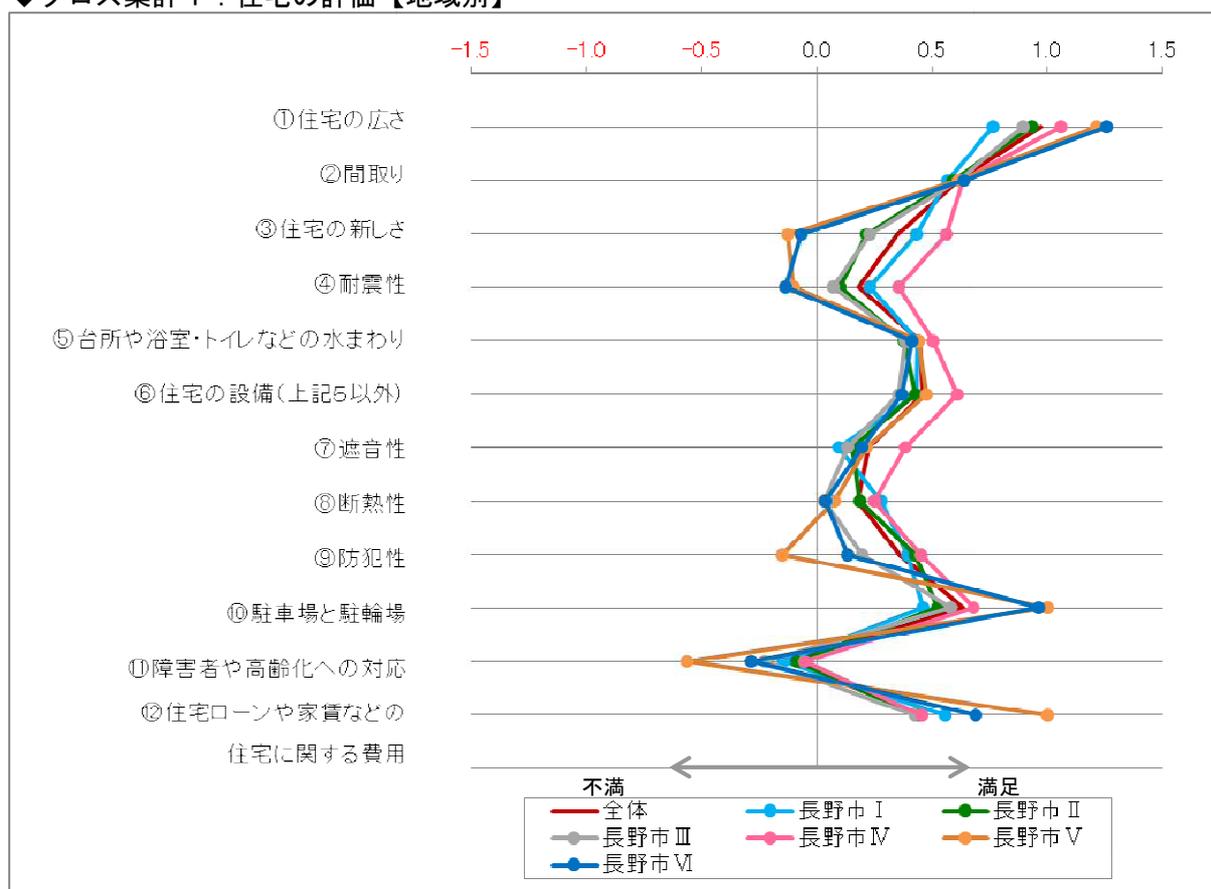
$$= \frac{\text{集計結果}}{\text{回答数の合計} - \text{「無回答数」}}$$

◆全体集計



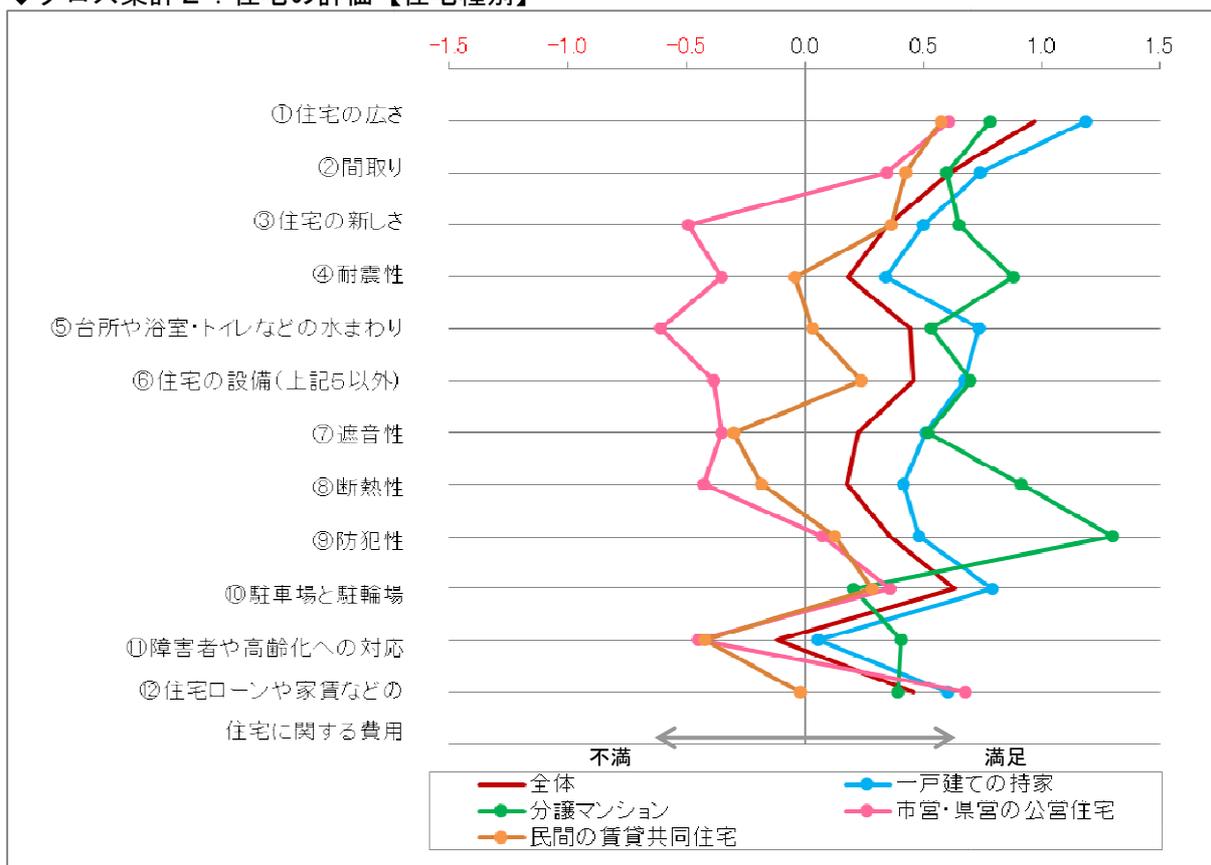
※評価ポイント：満足+2点、やや満足+1点、やや不満-1点、不満-2点として換算し集計

◆クロス集計1：住宅の評価【地域別】



- ・「①住宅の広さ」は、全体的に高い評価となったが、長野市VIの評価が最も高く、長野市V、長野市IVと続く。最も評価が低い地域は、長野市Iとなった。
- ・「③住宅の新しさ」及び「④耐震性」は、長野市IVの評価が最も高く、長野市Iと続く。長野市V、長野市VIはマイナス評価となった。
- ・「⑨防犯性」は、長野市IVの評価が最も高く、長野市II、長野市Iと続く。長野市Vはマイナス評価となった。
- ・「⑩駐車場と駐輪場」は、全体的に評価は高く、特に長野市V、長野市VIの評価が高い。長野市Iの評価が最も低い。
- ・「⑪障害者や高齢化への対応」は、全てマイナス評価となったが、長野市IVの評価が高く、長野市IIと続く。最も評価が低い地域は、長野市Vとなった。

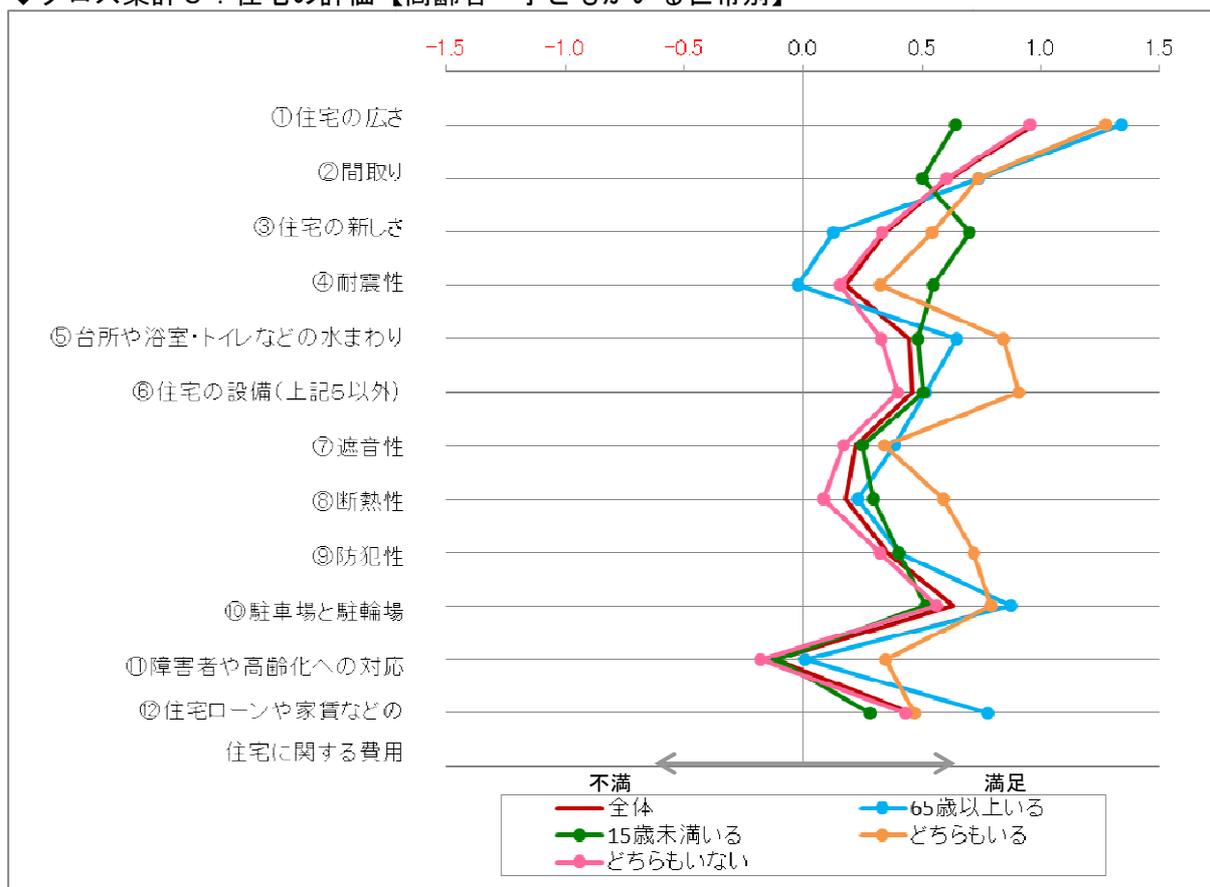
◆クロス集計2：住宅の評価【住宅種別】



住宅種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
全体	0.97	0.61	0.35	0.18	0.44	0.46	0.22	0.18	0.36	0.63	-0.12	0.46
一戸建ての持家	1.19	0.74	0.50	0.34	0.74	0.67	0.51	0.42	0.48	0.79	0.06	0.60
分譲マンション	0.79	0.60	0.65	0.88	0.53	0.70	0.52	0.92	1.30	0.20	0.41	0.39
市営・県営の公営住宅	0.60	0.35	-0.49	-0.35	-0.61	-0.38	-0.35	-0.43	0.07	0.36	-0.45	0.68
民間の賃貸共同住宅	0.58	0.42	0.37	-0.04	0.03	0.24	-0.30	-0.19	0.13	0.28	-0.42	-0.02

- ・全体的に市営・県営の公営住宅、民間の賃貸共同住宅にマイナス評価が目立つ。その反面、分譲マンション、一戸建ての持家の評価は高い結果となった。
- ・「③住宅の新しさ」は、分譲マンションの評価が最も高く、一戸建ての持家が続く。市営・県営の公営住宅はマイナス評価となった。
- ・「⑤台所や浴室・トイレなどの水まわり」は、一戸建ての持家の評価が最も高く、分譲マンションが続く。市営・県営の公営住宅はマイナス評価となった。
- ・「⑧断熱性」は、分譲マンションの評価が最も高く、一戸建ての持家が続く。市営・県営の公営住宅、民間の賃貸共同住宅はマイナス評価となった。
- ・「⑨防犯性」は、全体的に評価は高い。特に分譲マンションの評価が最も高く、市営・県営の公営住宅、民間の賃貸共同住宅の評価は低い。
- ・「⑫住宅ローンや家賃などの住宅に関する費用」は、市営・県営の公営住宅の評価が最も高く、一戸建ての持家と続く。民間の賃貸共同住宅はマイナス評価となった。

◆クロス集計3：住宅の評価【高齢者・子どもがいる世帯別】



世帯区分	①	②	③	④	⑧	⑧	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
全体	0.97	0.61	0.35	0.18	0.44	0.46	0.22	0.18	0.36	0.63	-0.12	0.46
65歳以上 がいる 世帯	1.34	0.74	0.13	-0.02	0.64	0.51	0.38	0.23	0.40	0.88	0.01	0.78
15歳未満 がいる 世帯	0.64	0.50	0.70	0.55	0.48	0.50	0.25	0.29	0.40	0.51	-0.11	0.28
どちらも いる世帯	1.27	0.74	0.54	0.32	0.85	0.91	0.34	0.59	0.72	0.79	0.35	0.47
どちらも いない 世帯	0.96	0.60	0.33	0.16	0.33	0.40	0.17	0.08	0.32	0.56	-0.18	0.43

- ・「①住宅の広さ」は、全体的に評価は高い。特に 65 歳以上がいる世帯、どちらもいる世帯の評価が高く、15 歳未満がいる世帯の評価は低い。
- ・「③住宅の新しさ」は、15 歳未満がいる世帯の評価が最も高く、どちらもいる世帯が続く。最も評価が低い世帯は、65 歳以上がいる世帯となった。
- ・「④耐震性」は、15 歳未満がいる世帯の評価が最も高く、65 歳以上がいる世帯はマイナス評価となった。
- ・「⑤台所や浴室・トイレなどの水まわり」は、どちらもいる世帯の評価が最も高く、65 歳以上がいる世帯が続く。最も評価が低い世帯は、どちらもいない世帯となった。
- ・「⑫住宅ローンや家賃などの住宅に関する費用」は、65 歳以上がいる世帯の評価が最も高く、最も評価が低い世帯は、15 歳未満がいる世帯となった。

(2) 住環境の評価

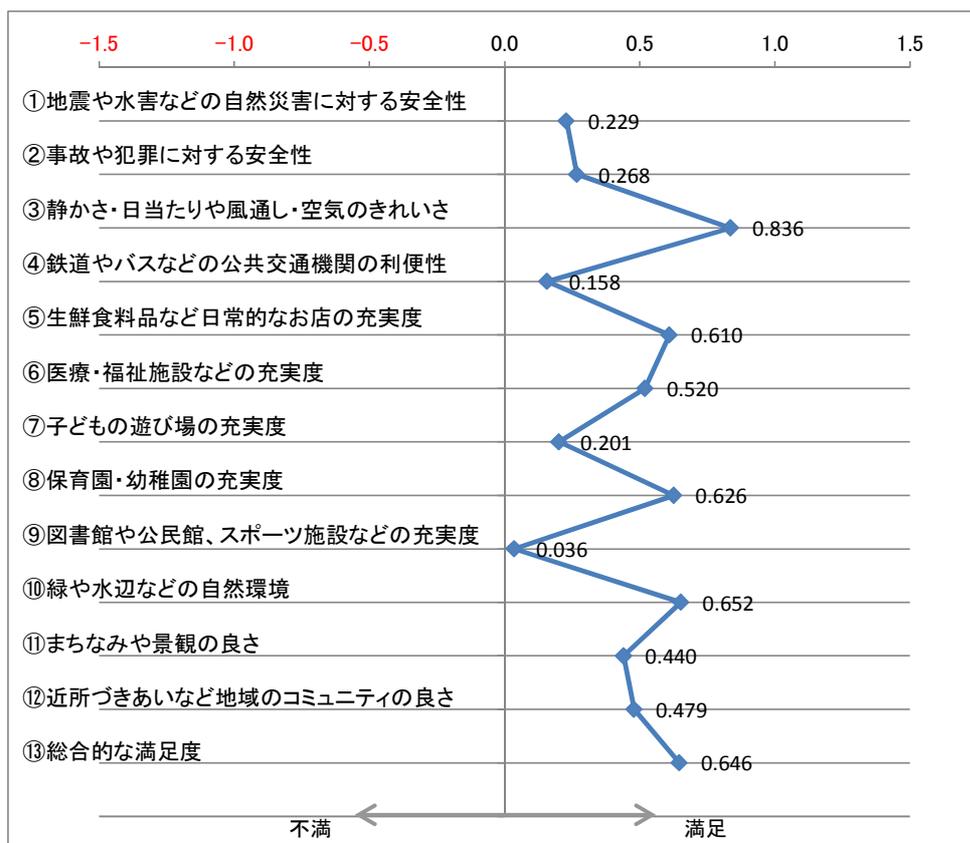
ポイント 「③静かさ・日当たりや風通し・空気のきれいさ」、 「⑩緑や水辺などの自然環境」 の評価が特に高い

ポイント 「⑨図書館や公民館、スポーツ施設などの充実度」、 「④鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性」 の評価が低い

- ・ 全ての項目がプラス評価（満足が上回っている）となり住環境に関する評価は高い。
- ・ 特に評価が高い項目は、「③静かさ・日当たりや風通し・空気のきれいさ」、 「⑩緑や水辺などの自然環境」となった。
- ・ その反面、「⑨図書館や公民館、スポーツ施設などの充実度」、 「④鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性」 の評価が低い。

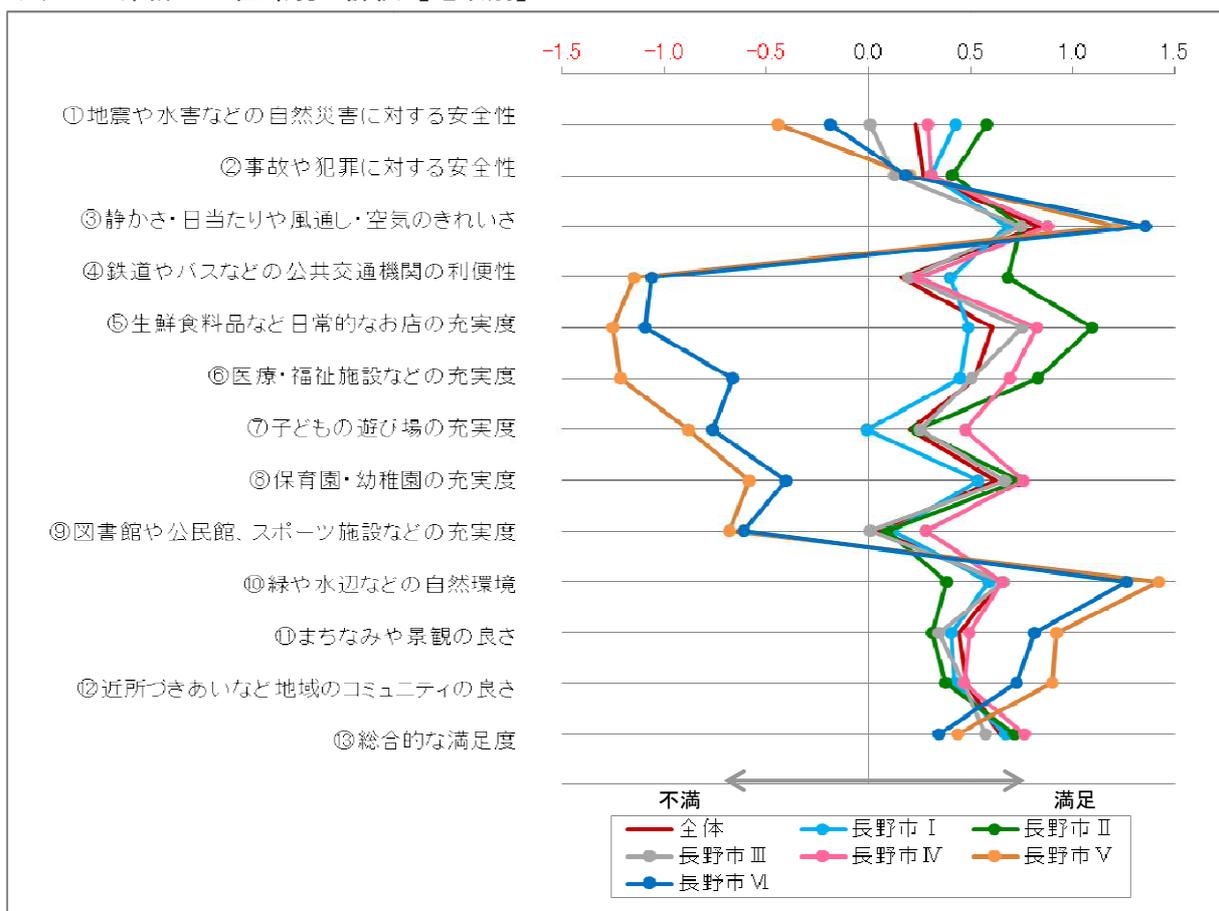
問 13 ご自宅の周辺の環境について、あなたはどの程度満足されていますか。
 1～13 の各項目ごとに、「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」のなかから、該当するものを1つずつ選んでください。

◆全体集計



※評価ポイント：満足+2点、やや満足+1点、やや不満-1点、不満-2点として換算し集計

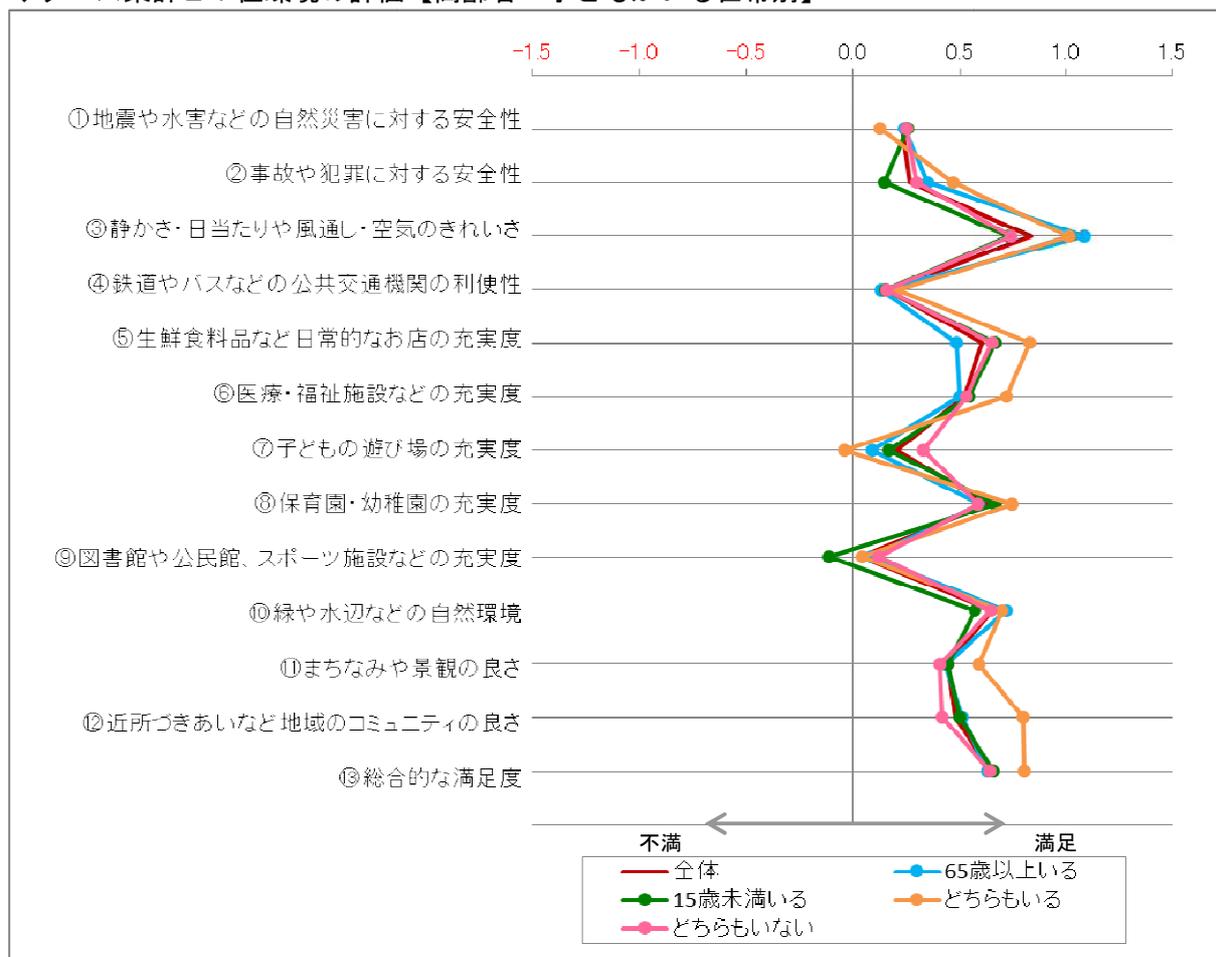
◆クロス集計1：住環境の評価【地域別】



地域	①	②	②	⑤	⑥	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
全 体	0.23	0.27	0.84	0.16	0.61	0.52	0.20	0.63	0.04	0.65	0.44	0.48	0.65
長野市Ⅰ	0.42	0.31	0.69	0.40	0.49	0.45	-0.01	0.54	0.11	0.59	0.40	0.42	0.67
長野市Ⅱ	0.58	0.41	0.75	0.68	1.09	0.83	0.24	0.74	0.09	0.38	0.31	0.37	0.71
長野市Ⅲ	0.00	0.12	0.75	0.19	0.75	0.51	0.25	0.67	0.01	0.66	0.34	0.46	0.57
長野市Ⅳ	0.29	0.31	0.88	0.24	0.83	0.69	0.47	0.76	0.28	0.66	0.49	0.47	0.77
長野市Ⅴ	-0.45	0.20	1.22	-1.15	-1.26	-1.22	-0.89	-0.59	-0.68	1.43	0.93	0.90	0.44
長野市Ⅵ	-0.19	0.18	1.36	-1.06	-1.10	-0.67	-0.77	-0.41	-0.61	1.27	0.81	0.73	0.34

- ・「①地震や水害などの自然災害に対する安全性」は、長野市Ⅱの評価が最も高く、長野市Ⅰ、長野市Ⅳが続く。長野市Ⅵ、長野市Ⅴはマイナス評価となった。
- ・「④鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性」は、長野市Ⅱの評価が最も高く、長野市Ⅰが続く。長野市Ⅴ、長野市Ⅵは大幅なマイナス評価となった。
- ・長野市Ⅱでは「⑤生鮮食品など日常のお店の充実度」と「⑥医療・福祉施設などの充実度」の評価が他地区に比べ高い。
- ・長野市Ⅴと長野市Ⅵでは「③静かさ・日当たりや風通し・空気のきれいさ」「⑩緑や水辺などの自然環境」「⑪まちなみや景観の良さ」「⑫近所づきあいなど地域のコミュニティの良さ」の評価が高い。

◆クロス集計2：住環境の評価【高齢者・子どもがいる世帯別】



- ・住環境の評価について、高齢者・子どもがいる世帯別では、大きな違いは見られなかった。
- ・「③静かさ・日当たりや風通し・空気のきれいさ」は、65歳以上いる世帯の評価が最も高く、最も評価が低い世帯は、15歳未満がいる世帯となった。
- ・「⑤生鮮食料品など日常的なお店の充実度」は、どちらもいる世帯の評価が最も高く、最も評価が低い世帯は、65歳以上のいる世帯となった。
- ・「⑫近所づきあいなど地域のコミュニティの良さ」は、どちらもいる世帯の評価が最も高く、最も評価が低い世帯は、どちらもいない世帯となった。

4. 今後の住まい方について

(1) 10年後の住まい方

ポイント 現在の場所に住み続ける方は約 64%、長野市Vでは約 74%

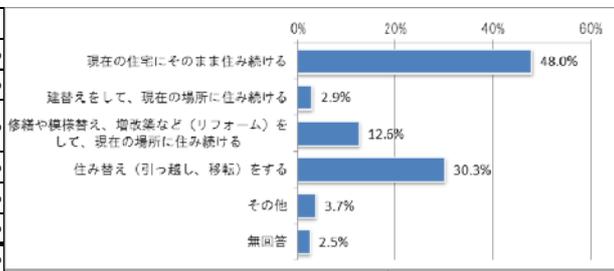
ポイント 年代が上がるにつれ、現在地への定住意向が高い、60歳以上で約 85%

- ・ 10年後の住まい方として、「現在の住宅にそのまま住み続ける」「建替えをして現在の場所に住み続ける」「修繕等を行い現在の場所に住み続ける」の現在の場所に住み続ける意向は 63.5%、「住み替え（引っ越し、移転）をする」は 30.3%となった。
- ・ 同様に地域別では、長野市Vの 74.3%が最も高く、長野市IVの 66.3%、長野市IIIの 64.6%が続く。
- ・ 長野市Iでは「住み替え（引っ越し、移転）をする」が 41.1%と他地区に比べ高い。
- ・ 回答者の年代別では、「現在の住宅にそのまま住み続ける」が最も多い年代は「60歳以上」の 65.1%となった。
- ・ 「住み替え（引っ越し、移転）をする」が最も多い年代は「20歳代」の 71.8%となった。

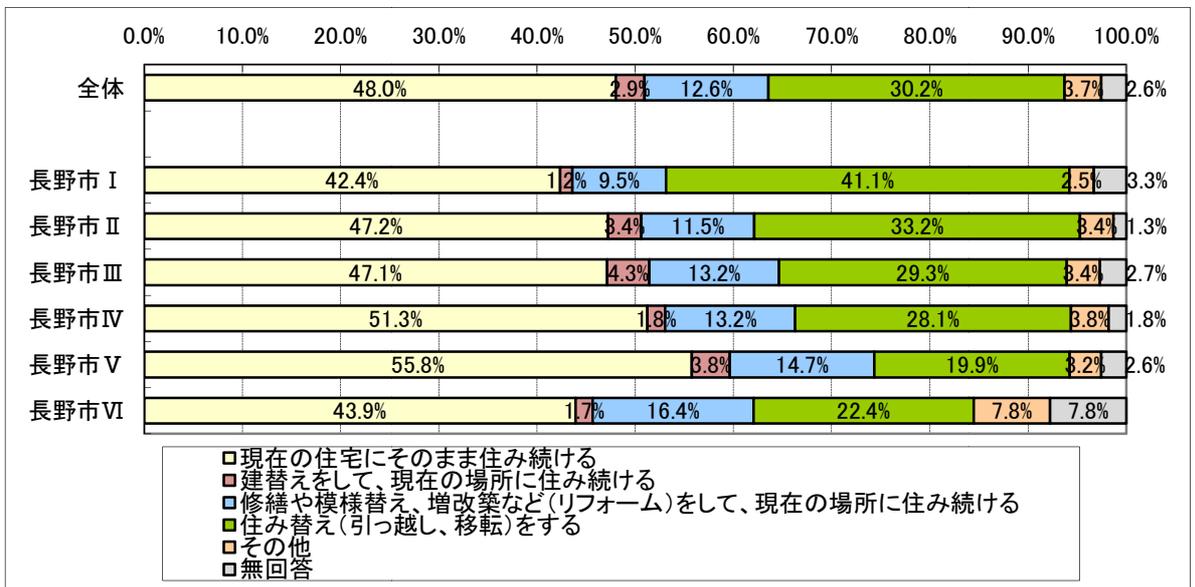
問 14 10年後の住まい方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。
(○は1つだけ)

◆全体集計

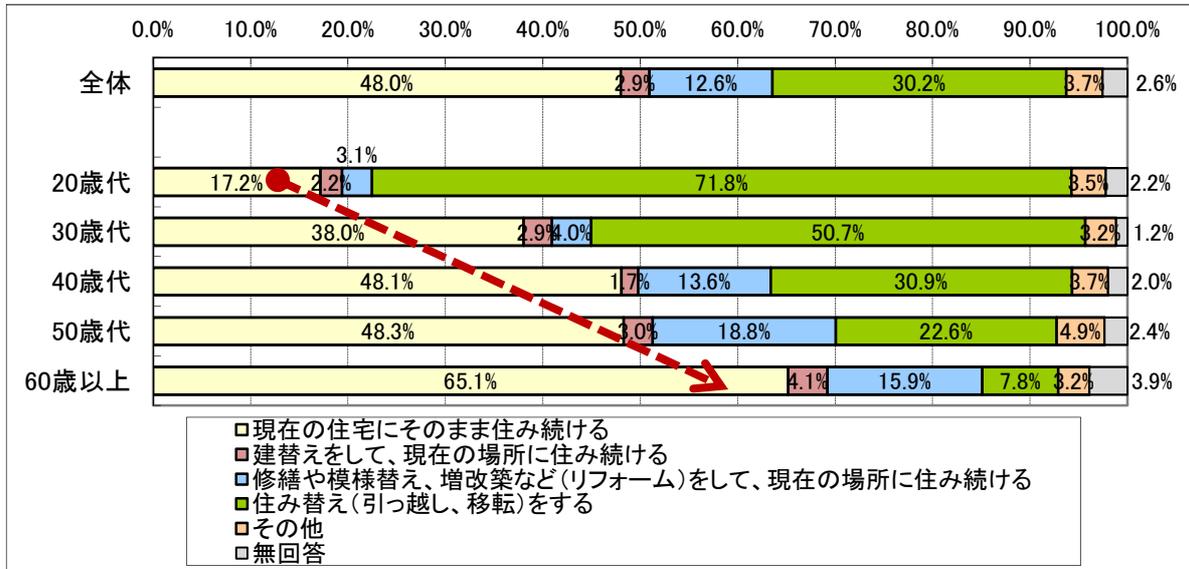
選 択 肢	回答数	構成比
現在の住宅にそのまま住み続ける	979	48.0%
建替えをして、現在の場所に住み続ける	60	2.9%
修繕や模様替え、増改築など（リフォーム）をして、現在の場所に住み続ける	258	12.6%
住み替え（引っ越し、移転）をする	617	30.3%
その他	76	3.7%
無回答	52	2.5%
合 計	2,042	100.0%



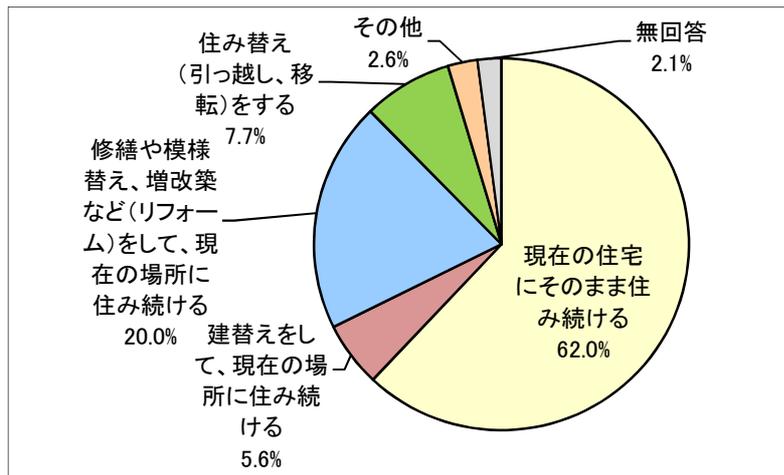
◆クロス集計 1 : 10年後の住まい方【地域別】



◆クロス集計2：10年後の住まい方【回答者の年代別】



◆クロス集計3：10年後の住まい方【リフォームを実施した持家の居住者】



(2) 住み替えを考える理由

ポイント ライフステージの変化に伴う住み替え理由が約 37%と最も多い

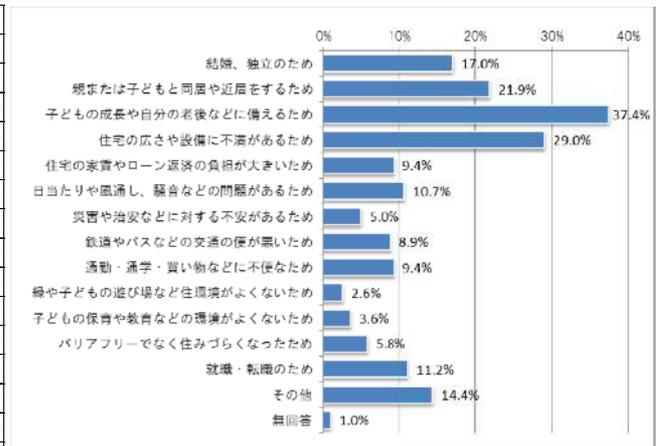
- ・ 「住み替え（引っ越し、移転）をする」と回答された方の住み替え理由は、「子どもの成長や自分の老後などに備えるため」のライフステージの変化に伴う理由が 37.4%と最も多い。
- ・ 「住宅の広さや設備に不満があるため」の住宅に対する不満による理由は 29.0%
- ・ 「親または子どもと同居や近居をするため」など近居・同居による理由は 21.9%
- ・ 「結婚、独立のため」の世帯分離による理由は 17.0%

【問 14 で「4. 住み替え（引っ越し、移転）をする」を選ばれた方は、問 14-1～問 14-4 にもお答えください。】

問 14-1 住み替えをしたいと考える理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

◆全体集計（複数回答：有効回答数 617）

選 択 肢	回答数	構成比
結婚、独立のため	105	17.0%
親または子どもと同居や近居をするため	135	21.9%
子どもの成長や自分の老後などに備えるため	231	37.4%
住宅の広さや設備に不満があるため	179	29.0%
住宅の家賃やローン返済の負担が大きいため	58	9.4%
日当たりや風通し、騒音などの問題があるため	66	10.7%
災害や治安などに対する不安があるため	31	5.0%
鉄道やバスなどの交通の便が悪いため	55	8.9%
通勤・通学・買い物などに不便なため	58	9.4%
緑や子どもの遊び場など住環境がよくないため	16	2.6%
子どもの保育や教育などの環境がよくないため	22	3.6%
バリアフリーでなく住みづらくなったため	36	5.8%
就職・転職のため	69	11.2%
その他	89	14.4%
無回答	6	1.0%
合 計	1,156	-



ポイント 住み替え住宅は、一戸建ての持家（新築で購入）が約43%と最も多い

ポイント 中古住宅への住み替え意向も約29%ある

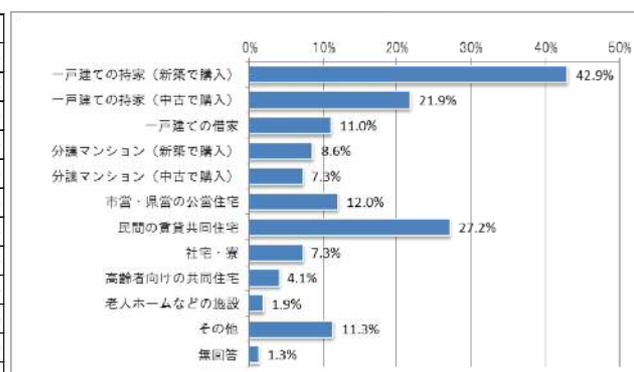
- ・ 住み替える場合の住宅としては、「一戸建ての持家（新築で購入）」が42.9%と最も多く、「民間の賃貸共同住宅」が27.2%となった。
- ・ 「一戸建ての持家（中古で購入）」が21.9%、「分譲マンション（中古で購入）」が7.3%と中古住宅に対する意向も29.2%ある。
- ・ 「市営・県営の公営住宅」の12.0%は、4番目に多く、回答者の年代別では、40歳以上が70.2%となった。

【問14で「4. 住み替え（引っ越し、移転）をする」を選ばれた方は、問14-1～問14-4にもお答えください。】

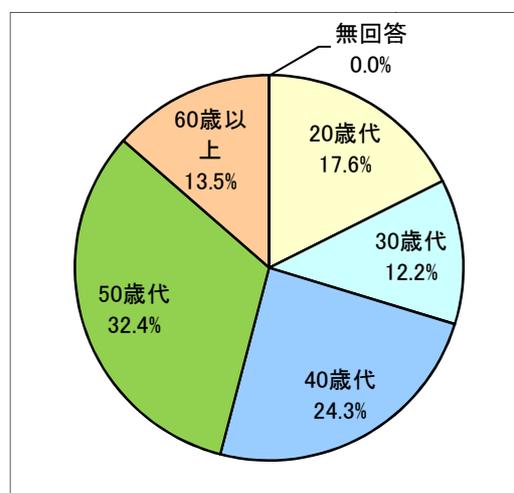
問14-2 住み替える場合はどのような住宅を探そうと思いますか。（〇は3つまで）

◆全体集計（複数回答：有効回答数617）

選 択 肢	回答数	構成比
一戸建ての持家（新築で購入）	265	42.9%
一戸建ての持家（中古で購入）	135	21.9%
一戸建ての借家	68	11.0%
分譲マンション（新築で購入）	53	8.6%
分譲マンション（中古で購入）	45	7.3%
市営・県営の公営住宅	74	12.0%
民間の賃貸共同住宅	168	27.2%
社宅・寮	45	7.3%
高齢者向けの共同住宅	25	4.1%
老人ホームなどの施設	12	1.9%
その他	70	11.3%
無回答	8	1.3%
合 計	968	-



◆市営・県営の公営住宅に住み替えたいと回答した年代別



ポイント 住み替えにあたり「②資金の調達と支払い能力」に不安を感じている方は多い

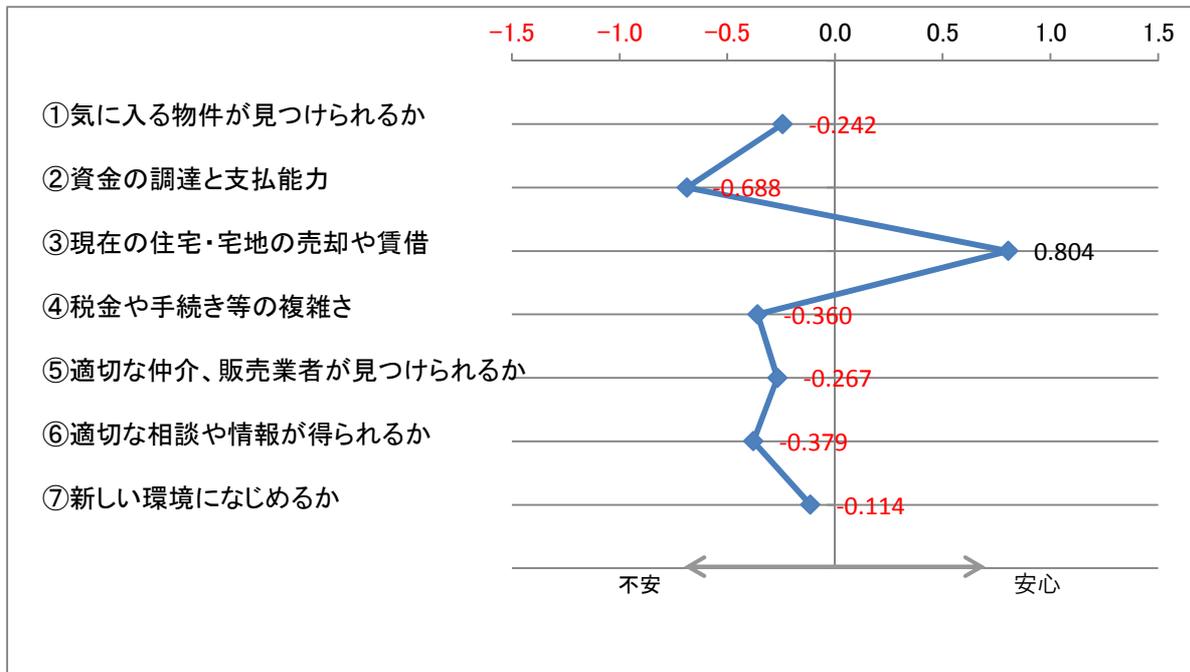
- ・ 住み替えをする上で不安に感じることは多く、特に「②資金の調達と支払い能力」に関する不安を感じている方が多い。
- ・ 「③現在の住宅・宅地の売却や賃借」に関する不安は少ない。

【問 14 で「4. 住み替え（引っ越し、移転）をする」を選ばれた方は、問 14-1～問 14-4 にお答えください。】

問 14-3 住み替えをする上で不安に感じることは何ですか。

1～7 の項目ごとに、「非常に不安」、「不安」、「あまり不安はない」、「まったく不安はない」のなかから、該当するものを1つずつ選んでください。

◆全体集計（複数回答：有効回答数 617）



※評価ポイント：不安はない+2点、あまり不安はない+1点、不安-1点、非常に不安-2点として換算し集計

ポイント 市内での住み替え意向は約 56%、市外へは約 22%

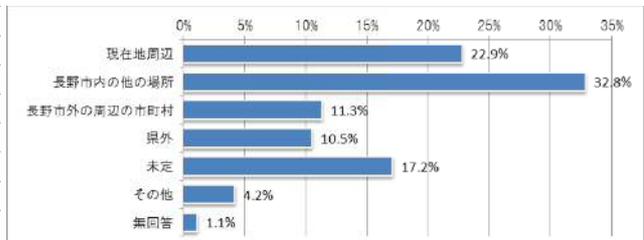
- ・ 住み替え先としては、「長野市内の他の場所」が 32.8%と最も多く、「現在地周辺」が 22.9%と続き、市内での住み替え意向が 55.7%を占める。
- ・ 市外周辺の市町村への住み替えは 11.3%、県外への住み替えは 10.5%となり、市外への住み替え意向は 21.8%となった。

【問 14 で「4. 住み替え（引っ越し、移転）をする」を選ばれた方は、問 14-1～問 14-4 にお答えください。】

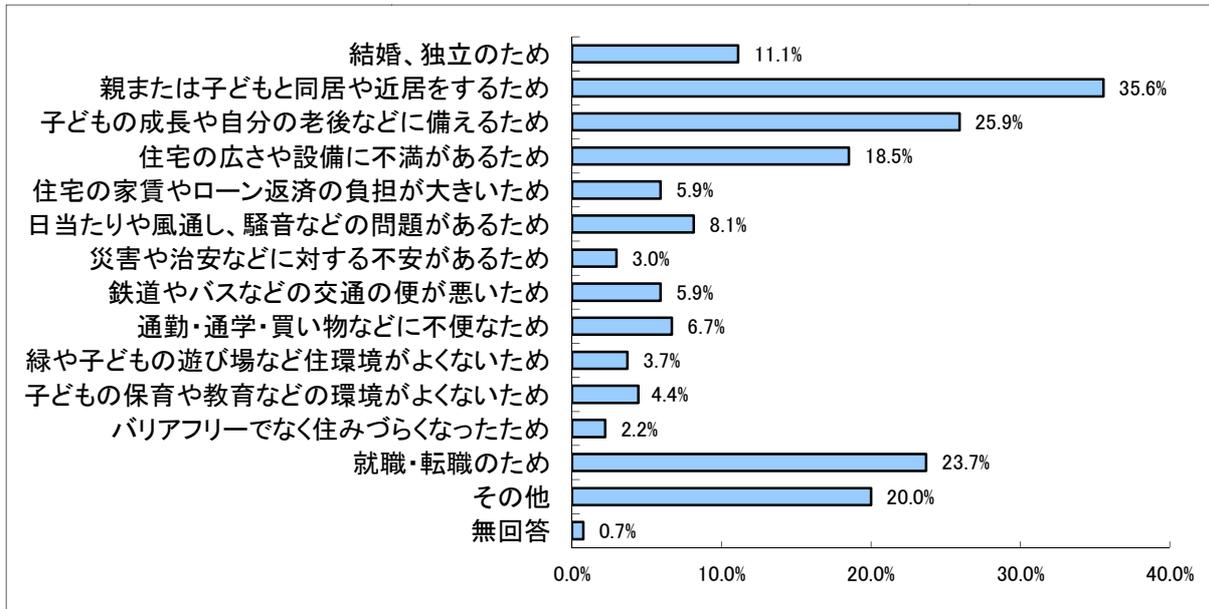
問 14-4 あなたはどのような場所に住み替えたいと考えていますか。（○は1つ）

◆全体集計

選 択 肢	回答数	構成比
現在地周辺	141	22.9%
長野市内の他の場所	202	32.8%
長野市外の周辺の市町村	70	11.3%
県外	65	10.5%
未定	106	17.2%
その他	26	4.2%
無回答	7	1.1%
合 計	617	100.0%



◆クロス集計 1：住み替えの理由【市外・県外への移転希望者】



5. 高齢者・障害者に対応した住宅

(1) バリアフリー化の状況

ポイント バリアフリー化された住宅に居住する割合は約 27%

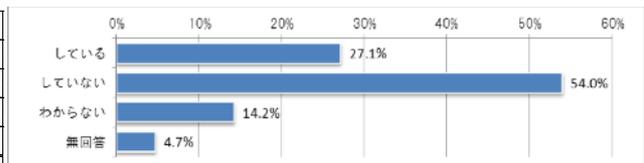
ポイント 年代が上がるほど、バリアフリー化実施率が高い

- ・ 居住する住宅を「バリアフリー化している」は、27.1%、「バリアフリー化していない」は 54.0%となった。
- ・ 20～30 歳代では「わからない」が多く、50 歳代、60 歳以上では「バリアフリー化している」が多い。年代が上がるほど実施率が高い。

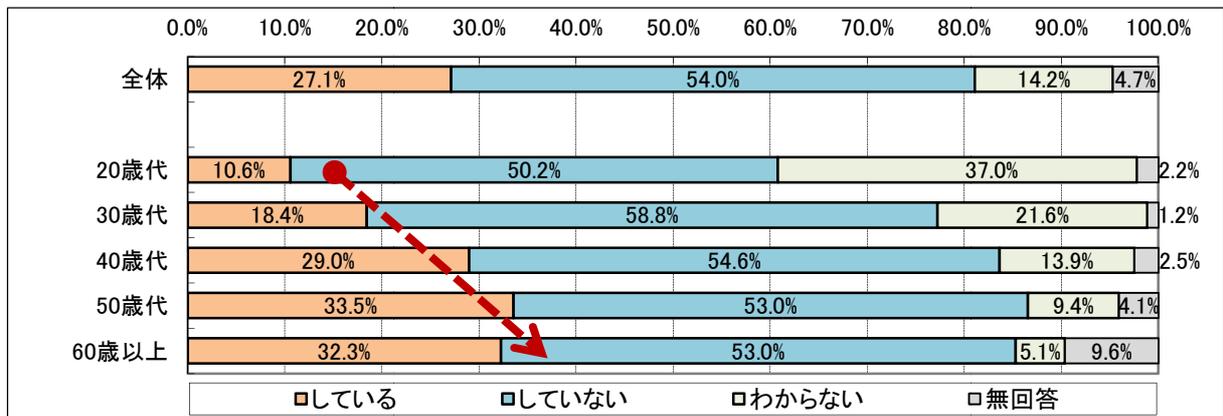
問 15 現在お住まいの住宅は、新築や改築の時にバリアフリーにしたり、バリアフリーのための改修などを実施していますか。(○は1つだけ)

◆全体集計

選 択 肢	回答数	構成比
している	554	27.1%
していない	1,102	54.0%
わからない	290	14.2%
無回答	96	4.7%
合 計	2,042	100.0%



◆クロス集計 1 : バリアフリー化実施状況【回答者の年代別】



ポイント 玄関、階段等への手すりの設置は、一部実施を含め約 80%

- ・ バリアフリー化している項目で最も多いのは「③玄関、階段、廊下、トイレ、浴室等への手すりの設置」で 47.8%、「一部している」の 33.0%を合せると 80.8%となった。
- ・ バリアフリー化していない項目で最も多いのは「⑥エレベーター等の自動昇降装置の設置」で 80.2%となった。

【問 15 で「1. している」を選ばれた方は、問 15-1 にもお答えください。】

問 15-1 あなたが現在お住まいの住宅のバリアフリー化の状況についてお伺いします。
1～9 の項目ごとに、「している」、「一部している」、「していない」のなかから、該当するものを 1 つずつ選んでください。

◆全体集計

選 択 肢	している	一部 している	して いない	無回答
①道路から玄関までの段差の解消	18.4%	20.4%	47.7%	13.5%
②玄関周り、廊下、居室等の段差の解消	41.8%	33.6%	13.4%	11.2%
③玄関、階段、廊下、トイレ、浴室等への手すりの設置	47.8%	33.0%	8.7%	10.5%
④車いすでも通行可能な廊下幅の確保	45.7%	16.8%	25.8%	11.7%
⑤引き戸や握りやすい取手などの改善	35.5%	26.5%	25.5%	12.5%
⑥エレベーター等の自動昇降装置の設置	7.0%	0.2%	80.2%	12.6%
⑦入りやすい浴槽	40.8%	23.3%	24.5%	11.4%
⑧使いやすい台所	37.4%	22.9%	27.1%	12.6%
⑨緊急時に外部に連絡する装置などの設置 (緊急通報ボタンや生活リズムセンサーなどの通信設備)	6.7%	4.0%	76.1%	13.2%

ポイント バリアフリー改修を行う場合の費用負担は 100 万円未満が約 45%

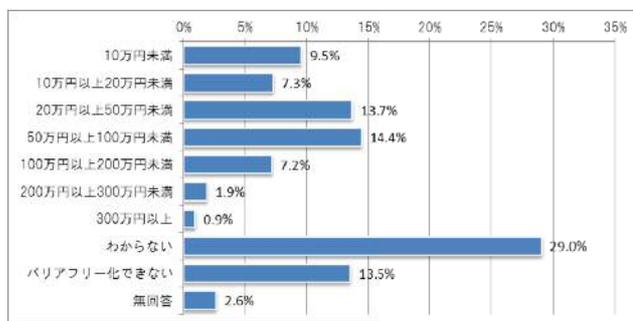
- ・ バリアフリー改修を行う場合の費用負担は「わからない」が 29.0%と最も多い。
- ・ 「わからない」以外の負担できる費用としては、「50 万円以上 100 万円未満」が 14.4%、「20 万円以上 50 万円未満」が 13.7%となり、負担額 100 万円未満では 44.9%となった。
- ・ 「バリアフリー化できない」は 13.5%となった。

【問 15 で「2. していない」を選ばれた方は、問 15-2 にもお答えください。】

問 15-2 バリアフリー改修をする場合、どの程度の費用負担なら実施したいと思いますか。
(○は1つだけ)

◆全体集計

選 択 肢	回答数	構成比
10万円未満	105	9.5%
10万円以上20万円未満	80	7.3%
20万円以上50万円未満	151	13.7%
50万円以上100万円未満	159	14.4%
100万円以上200万円未満	79	7.2%
200万円以上300万円未満	21	1.9%
300万円以上	10	0.9%
わからない	319	29.0%
バリアフリー化できない	149	13.5%
無回答	29	2.6%
合 計	1,102	100.0%



(2) 高齢になった時の暮らし方

ポイント 高齢期の暮らし方は「住み慣れた自宅で暮らしたい」が最も多い

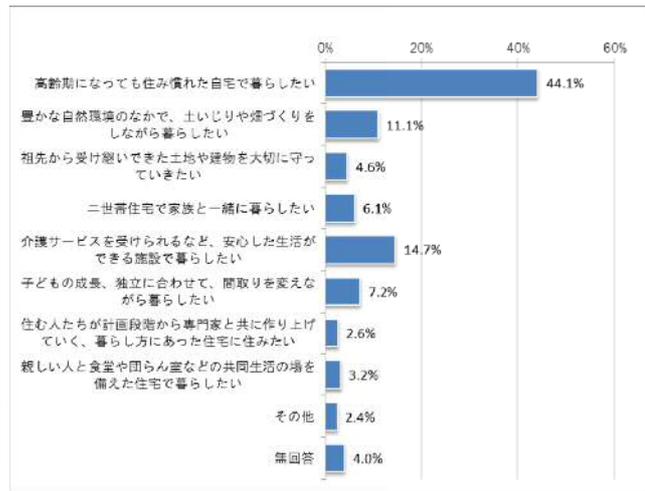
ポイント 介護サービスを受けられるなど、安心した生活ができる施設の意向も多い

- ・ 「高齢期になっても住み慣れた自宅で暮らしたい」が 44.1%と最も多く、回答者は 50 歳代、60 歳以上が 60%を占める。
- ・ 「介護サービスを受けられるなど、安心した生活ができる施設で暮らしたい」は 14.7%、回答者は 40 歳代以上が 74.3%を占める。

問 16 ご自身が望む、ご高齢になった時（既に高齢の方も含む）の暮らし方として近いものはどれですか。（○は1つだけ）

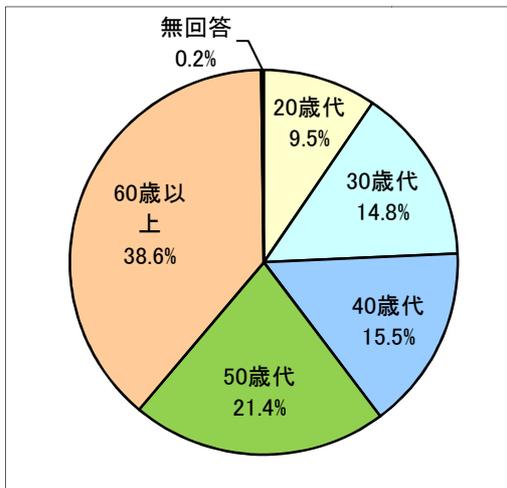
◆全体集計

選 択 肢	回答数	構成比
高齢期になっても住み慣れた自宅で暮らしたい	899	44.1%
豊かな自然環境のなかで、土いじりや畑づくりをしながら暮らしたい	226	11.1%
祖先から受け継いできた土地や建物を大切に守っていききたい	94	4.6%
二世帯住宅で家族と一緒に暮らしたい	125	6.1%
介護サービスを受けられるなど、安心した生活ができる施設で暮らしたい	300	14.7%
子どもの成長、独立に合わせて、間取りを変えながら暮らしたい	148	7.2%
住む人たちが計画段階から専門家と共に作り上げていく、暮らし方にあった住宅に住みたい	53	2.6%
親しい人と食堂や団らん室などの共同生活の場を備えた住宅で暮らしたい	65	3.2%
その他	50	2.4%
無回答	82	4.0%
合 計	2,042	100.0%



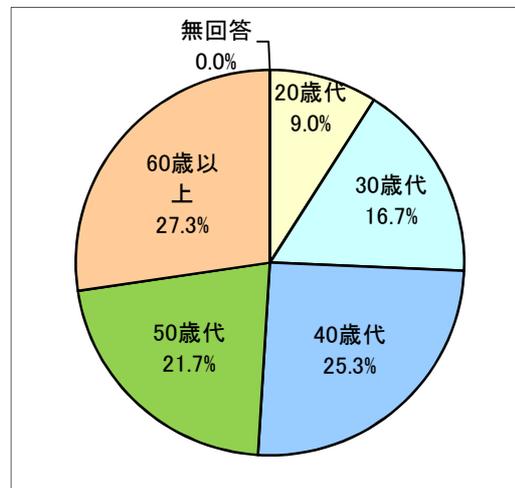
◆クロス集計 1：回答者の年代別

「高齢期になっても住み慣れた自宅で暮らしたい」の割合



◆クロス集計 2：回答者の年代別

「介護サービスを受けられるなど、安心した生活ができる施設で暮らしたい」の割合



6. 環境に配慮した住まい方

ポイント 一戸建て持家への住替え意向者には、太陽光発電などの自然エネルギーの利用、省エネ住宅に関する意向が多い

- ・ 現在実施している取組では、「③二重サッシやペアガラスによる断熱性の向上」が 45.4%と最も多く、「④庭木を植えたりや緑のカーテンを育てる」の 41.2%、「①日常生活における省エネルギーの取組の実践」の 40.3%が続く。
- ・ 現在はやっていないが今後実施したい取組では、「⑥エネルギー消費の少ない製品への買換え（高効率給湯器や省エネ家電（エアコン、冷蔵庫など）」が 51.1%と最も多く、「①日常生活における省エネルギーの取組の実践」など、回答が割れている。
- ・ 現在も今後も実施するつもりがない取組では、「⑦省エネ住宅への建替えや新規購入（高断熱・高気密等で省エネルギー性能の向上を図る住宅）」が 47.7%と最も多く、「⑤雨水の利用や雨水浸透ますの設置」の 44.6%、「②太陽光発電などの自然エネルギーの利用」の 42.6%が続く。
- ・ 住み替え住宅として「一戸建ての持家（新築で購入）」を選んだ回答者（問 14-2）に限定して、「②太陽光発電などの自然エネルギーの利用」と「⑦省エネ住宅への建替えや新規購入」の取組を集計すると、選択肢②では 66.8%、選択肢⑦では 77.4%が、「現在はやっていないが今後実施したい」となった。

問 17 あなたは、環境に配慮した取組を何か行っていますか。また、今後、どのような取組を行いたいと思いますか。

1～8 の項目ごとに、「実施している」、「実施したい」、「実施するつもりはない」のなかから、該当するものを 1つずつ 選んでください。

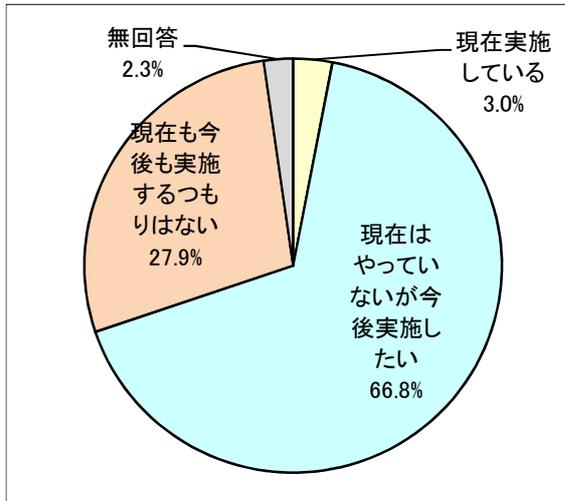
◆全体集計

	現在実施している	現在はやっていないが今後実施したい	現在も今後も実施するつもりはない	無回答
①日常生活における省エネルギーの取組の実践	40.3%	40.1%	12.6%	7.0%
②太陽光発電などの自然エネルギーの利用	12.4%	38.8%	42.6%	6.2%
③二重サッシやペアガラスによる断熱性の向上	45.4%	32.7%	16.8%	5.1%
④庭木を植えたりや緑のカーテンを育てる	41.2%	32.9%	20.1%	5.8%
⑤雨水の利用や雨水浸透ますの設置	10.4%	38.6%	44.6%	6.4%
⑥エネルギー消費の少ない製品への買換え（高効率給湯器や省エネ家電（エアコン、冷蔵庫など）	32.5%	51.1%	10.9%	5.5%
⑦省エネ住宅への建替えや新規購入（高断熱・高気密等で省エネルギー性能の向上を図る住宅）	13.3%	32.2%	47.7%	6.8%
⑧その他	0.9%	1.6%	6.0%	91.5%

◆クロス集計1：

②太陽光発電などの自然エネルギーの利用

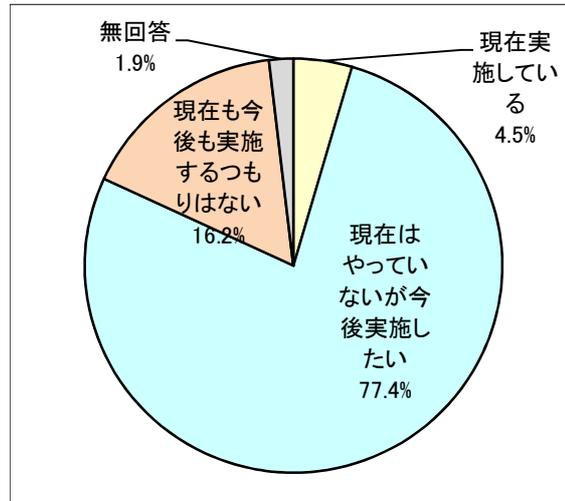
【住み替えたい住宅が一戸建て持家の回答者】



◆クロス集計2：

⑦省エネ住宅への建替えや新規購入

【住み替えたい住宅が一戸建て持家の回答者】



7. 子育てしやすい住まい・住環境

(1) 子育てしやすい住宅

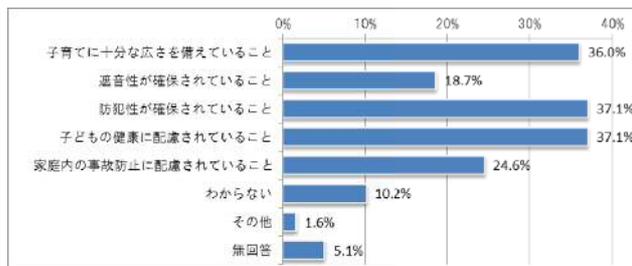
ポイント 子育てしやすい住宅には「防犯性の確保」「子どもの健康への配慮」「十分な広さ」が必要

- ・ 子育てしやすい住宅として望まれることとしては、「防犯性が確保されていること」と「子どもの健康に配慮されていること」が共に 37.1%と最も多く、「子育てに十分な広さを備えていること」も 36.0%となった。
- ・ 15 歳未満の子どものいる世帯では「防犯性が確保されていること」と「子育てに十分な広さを備えていること」が共に約 44%となり、全体集計を大きく上回った。

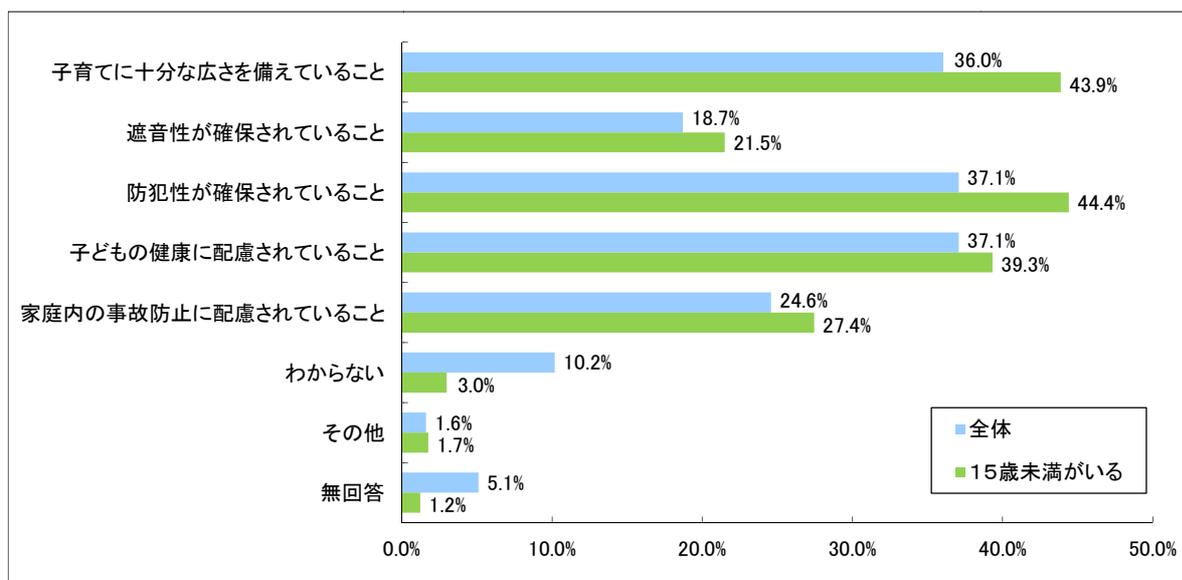
問 18 子育てしやすい住宅として望まれることは何ですか。(〇は2つまで)

◆全体集計（複数回答：有効回答数 2,042）

選 択 肢	回答数	構成比
子育てに十分な広さを備えていること	736	36.0%
遮音性が確保されていること	382	18.7%
防犯性が確保されていること	757	37.1%
子どもの健康に配慮されていること	757	37.1%
家庭内の事故防止に配慮されていること	502	24.6%
わからない	208	10.2%
その他	33	1.6%
無回答	104	5.1%
合 計	3,479	-



◆クロス集計 1：15 歳未満の子どものいる世帯の回答



(2) 子育てしやすいまち

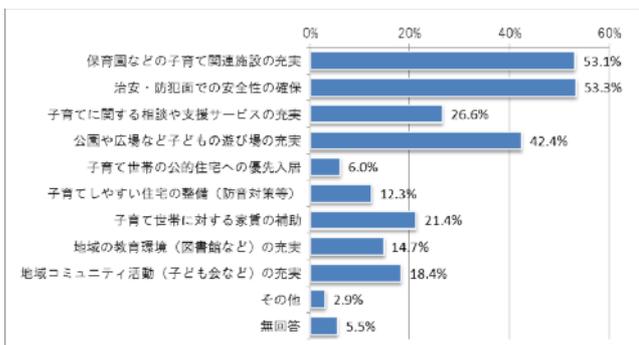
ポイント 子育てしやすいまちには「子育て関連施設の充実」「治安・防犯面での安全性の確保」「子どもの遊び場の充実」が必要

- ・ 子育てしやすいまちに必要なこととしては、「保育園などの子育て関連施設の充実」と「治安・防犯面での安全性の確保」が共に約 53%と最も多く、次いで「公園や広場など子どもの遊び場の充実」が 42.4%となった。
- ・ 15 歳未満の子どものいる世帯でも「治安・防犯面での安全性の確保」、「保育園などの子育て関連施設の充実」、「公園や広場など子どもの遊び場の充実」の回答が多い。
- ・ 「子育て世帯に対する家賃の補助」について、15 歳未満の子どものいる世帯では 30.9%となり、子育て世帯では家賃補助に対するニーズが多い。

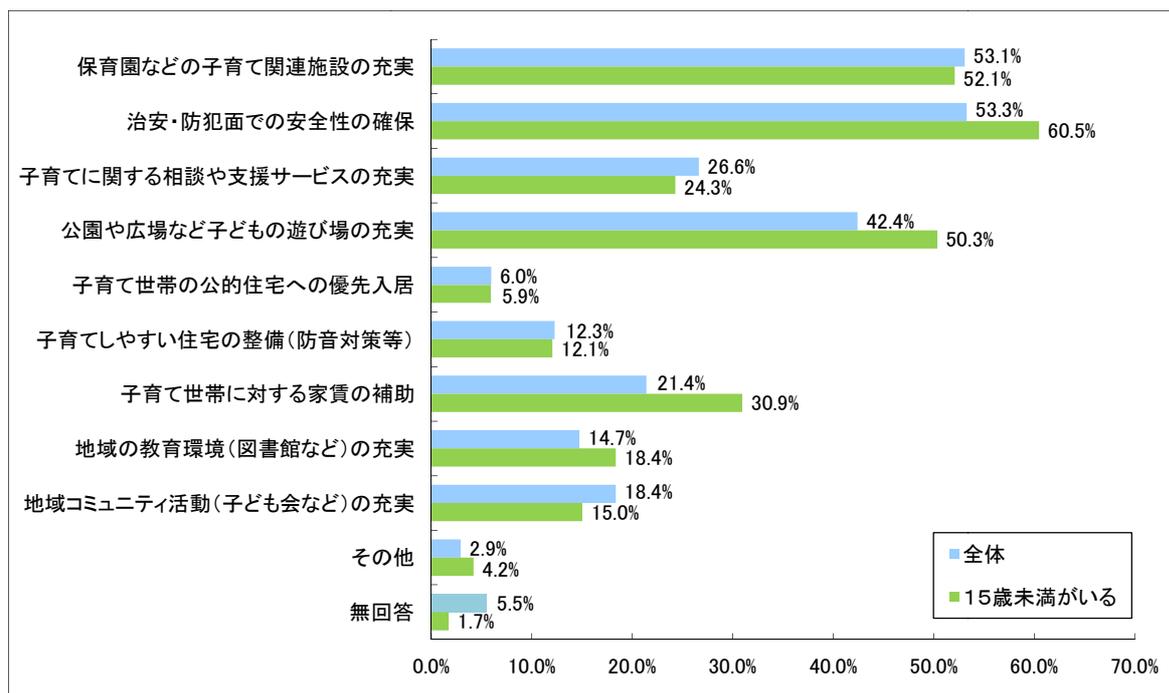
問 19 子育てしやすいまちにするためには、どのようなことが必要であると思いますか。
(○は3つまで)

◆全体集計（複数回答：有効回答数 2,042）

選 択 肢	回答数	構成比
保育園などの子育て関連施設の充実	1,084	53.1%
治安・防犯面での安全性の確保	1,088	53.3%
子育てに関する相談や支援サービスの充実	544	26.6%
公園や広場など子どもの遊び場の充実	866	42.4%
子育て世帯の公的住宅への優先入居	122	6.0%
子育てしやすい住宅の整備（防音対策等）	251	12.3%
子育て世帯に対する家賃の補助	437	21.4%
地域の教育環境（図書館など）の充実	301	14.7%
地域コミュニティ活動（子ども会など）の充実	375	18.4%
その他	60	2.9%
無回答	112	5.5%
合 計	5,240	-



◆クロス集計 1：15 歳未満の子どものいる世帯の回答



8. 住宅に関する情報

ポイント 「住宅や宅地の物件・価格に関する情報」「適切な施工業者・販売業者に関する情報」「県や市の支援・融資に関する情報」の関心が高い

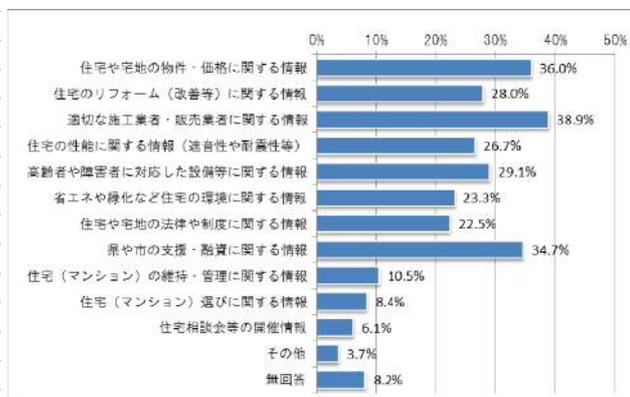
ポイント 高齢者のいる世帯は「高齢者や障害者に対応した設備等に関する情報」の関心が高い

- ・ 住宅に関して求める情報としては、「適切な施工業者・販売業者に関する情報」が 38.9%、と最も多く、次いで「住宅や宅地の物件・価格に関する情報」が 36.0%、「県や市の支援・融資に関する情報」が 34.7%となり、この3項目の関心が高い。
- ・ 65 歳以上の高齢者のいる世帯では、「高齢者や障害者に対応した設備等に関する情報」が 42.4%と最も多い。
- ・ 15 歳未満の子どものいる世帯では、「住宅や宅地の物件・価格に関する情報」が 43.4%と最も多く、次いで「適切な施工業者・販売業者に関する情報」が 41.6%、「県や市の支援・融資に関する情報」が 39.7%となった。

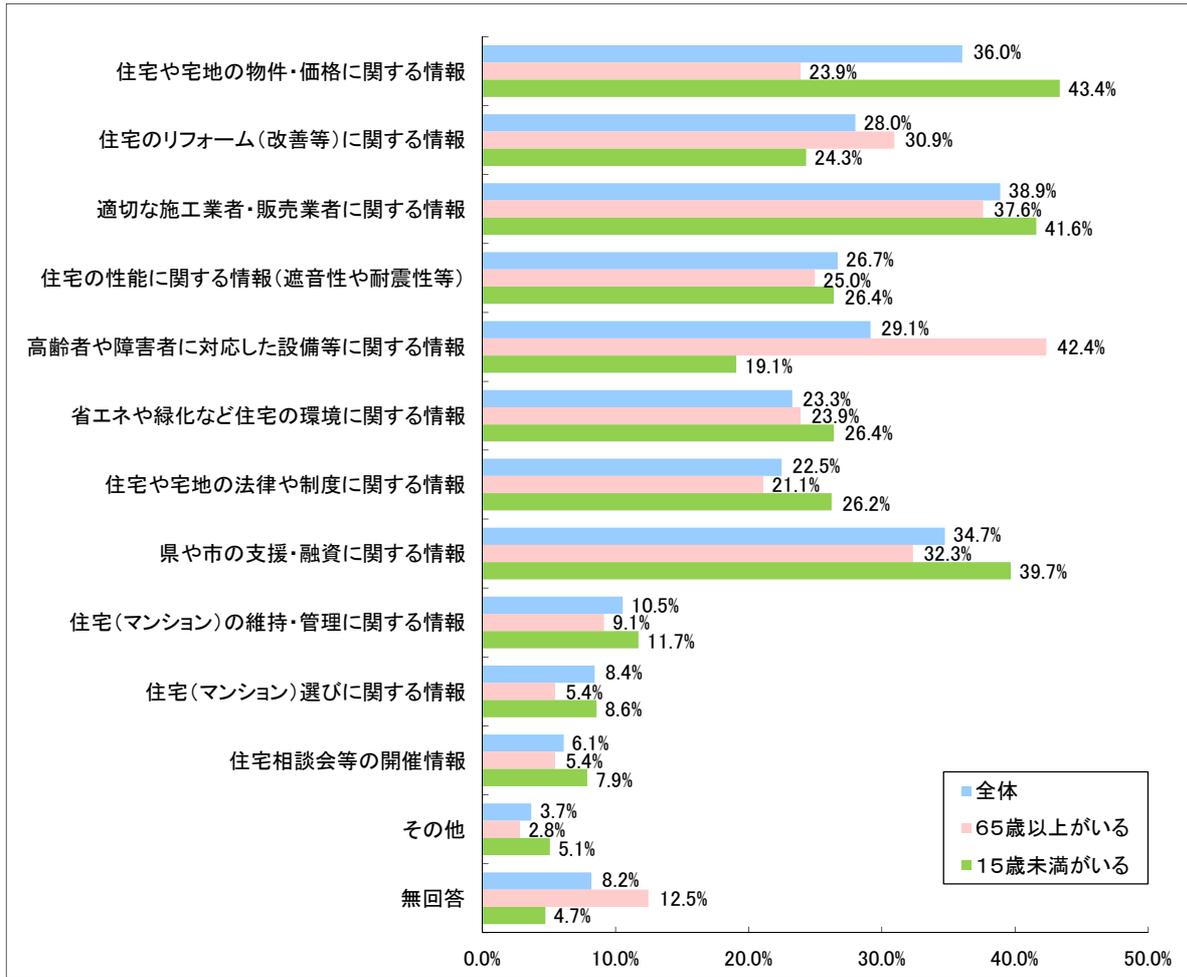
問 20 住宅に関してどのような情報がほしいですか。（あてはまるものすべてに○）

◆全体集計（複数回答：有効回答数 2,042）

選 択 肢	回答数	構成比
住宅や宅地の物件・価格に関する情報	736	36.0%
住宅のリフォーム（改善等）に関する情報	572	28.0%
適切な施工業者・販売業者に関する情報	794	38.9%
住宅の性能に関する情報（遮音性や耐震性等）	545	26.7%
高齢者や障害者に対応した設備等に関する情報	595	29.1%
省エネや緑化など住宅の環境に関する情報	475	23.3%
住宅や宅地の法律や制度に関する情報	459	22.5%
県や市の支援・融資に関する情報	709	34.7%
住宅（マンション）の維持・管理に関する情報	215	10.5%
住宅（マンション）選びに関する情報	172	8.4%
住宅相談会等の開催情報	125	6.1%
その他	75	3.7%
無回答	167	8.2%
合 計	5,639	-



◆クロス集計1：65歳以上の高齢者及び15歳未満の子どものいる世帯の回答



9. 周辺の空き家

(1) 自宅の利活用（持家）

ポイント 利活用を決めている住宅は約 34%、利活用が決まっていない住宅は約 61%

ポイント 長野市VIでは、今後の利活用が決まっていない住宅は約 69%

ポイント 年代が上がるほど、自宅の利活用に困っている方が多い

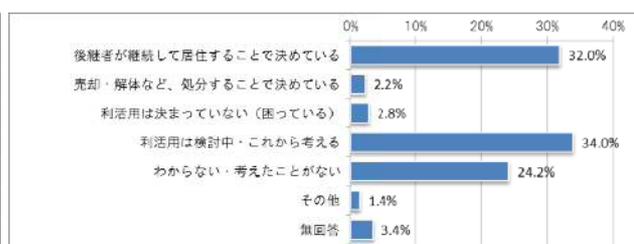
- ・ 自宅の今後の利活用としては、「後継者が継続して居住することで決めている」が 32.0%となり、「売却・解体など、処分することで決めている」の 2.2%を加え、今後の利活用を決めている住宅は、34.2%となった。
- ・ 「利活用は検討中・これから考える」が 34.0%となり、「わからない・考えたことがない」の 24.2%、「利活用は決まっていない（困っている）」の 2.8%を加え、今後の利活用が決まっていない住宅は、61%となった。
- ・ 長野市VIでは、今後の利活用が決まっていない住宅は約 69%であり、他地区に比べ高い。
- ・ 世帯主の年代、回答者の年代、共に年代が上がるほど、「利活用は決まっていない（困っている）」が多い。

問 21 現在のご自宅が「持家」の方にお伺いします。

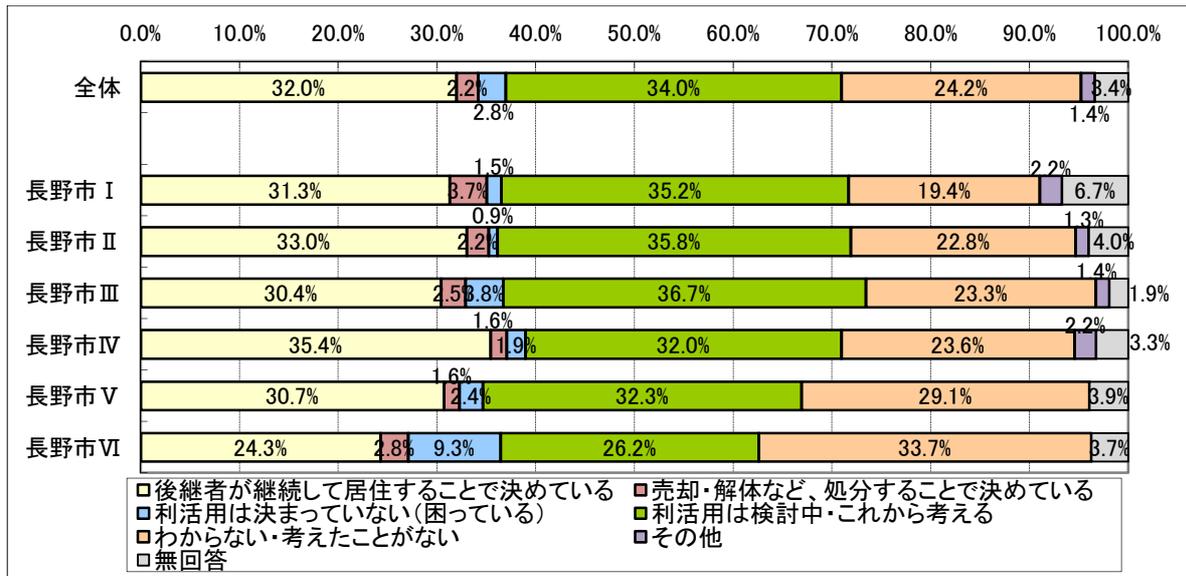
今のご自宅の今後の利用法についてどのようにお考えですか。（○は1つだけ）

◆全体集計

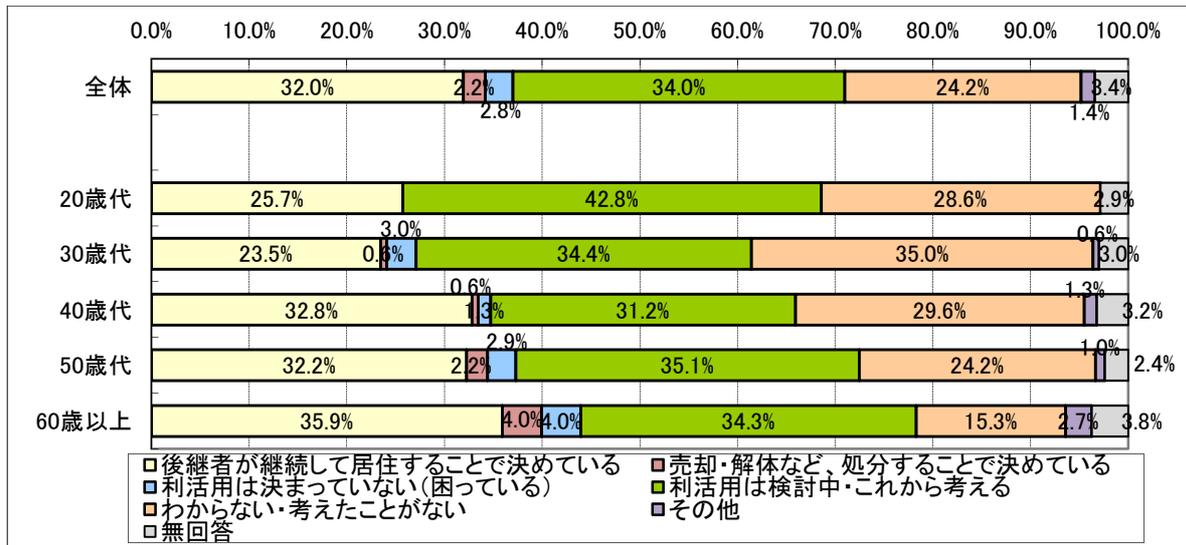
選 択 肢	回答数	構成比
後継者が継続して居住することで決めている	428	32.0%
売却・解体など、処分することで決めている	30	2.2%
利活用は決まっていない（困っている）	38	2.8%
利活用は検討中・これから考える	454	34.0%
わからない・考えたことがない	324	24.2%
その他	19	1.4%
無回答	46	3.4%
合 計	1,339	100.0%



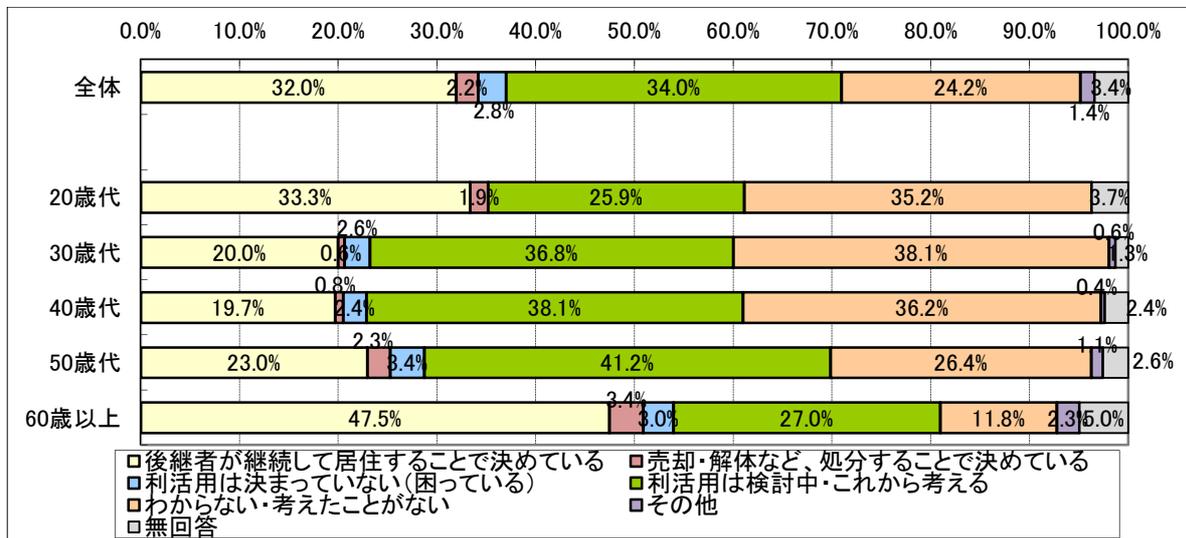
◆クロス集計1：自宅の利活用【地域別】



◆クロス集計2：自宅の利活用【主な働き手（世帯主）の年代別】



◆クロス集計3：自宅の利活用【回答者の年代別】



(2) 周辺の空き家について（主に戸建の空き家）

ポイント 空き家が増えていると感じている方は年代が上がるほど増加し、年代によって空き家に対する意識が異なる

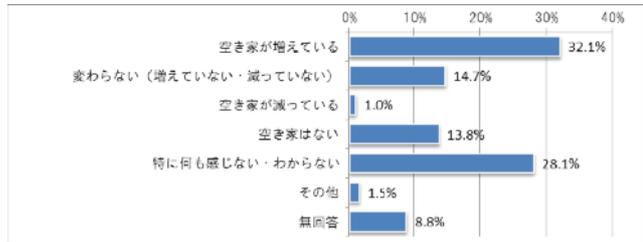
ポイント 長野市VIでは空き家が増えていると感じる方が、約68%と最も高い

- ・ 自宅周辺の空き家の状況は、「空き家が増えている」が32.1%、「変わらない（増えていない・減っていない）」が14.7%、「空き家はない」が13.8%、「特に何も感じない・わからない」は28.1%となった。
- ・ 「空き家が増えている」が最も多い地域は、長野市VIの68.4%であり、他地域に比べ大幅に多い。長野市I、長野市III、長野市Vでも「空き家が増えている」は多い。
- ・ 年代別では「空き家が増えている」は60歳以上で46.2%となり、20～40歳代では少ない。
- ・ 20～40歳代では「特に何も感じない・わからない」が最も多く、年代によって空き家に対する意識が異なる。

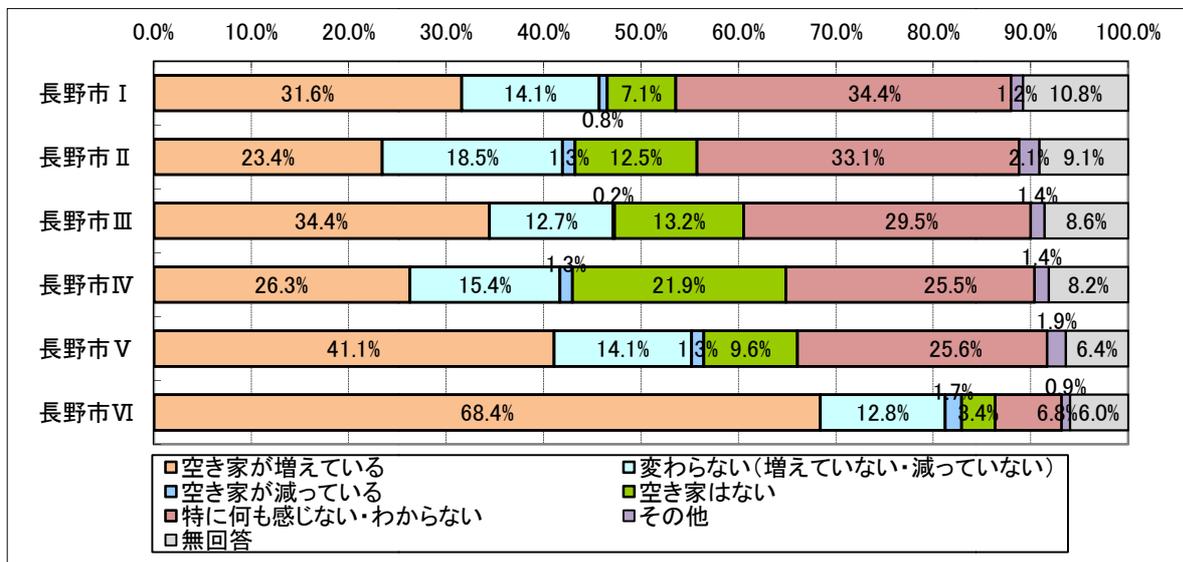
問22 ご自宅周辺の空き家の状況についてどのように思われていますか。（○は1つだけ）

◆全体集計

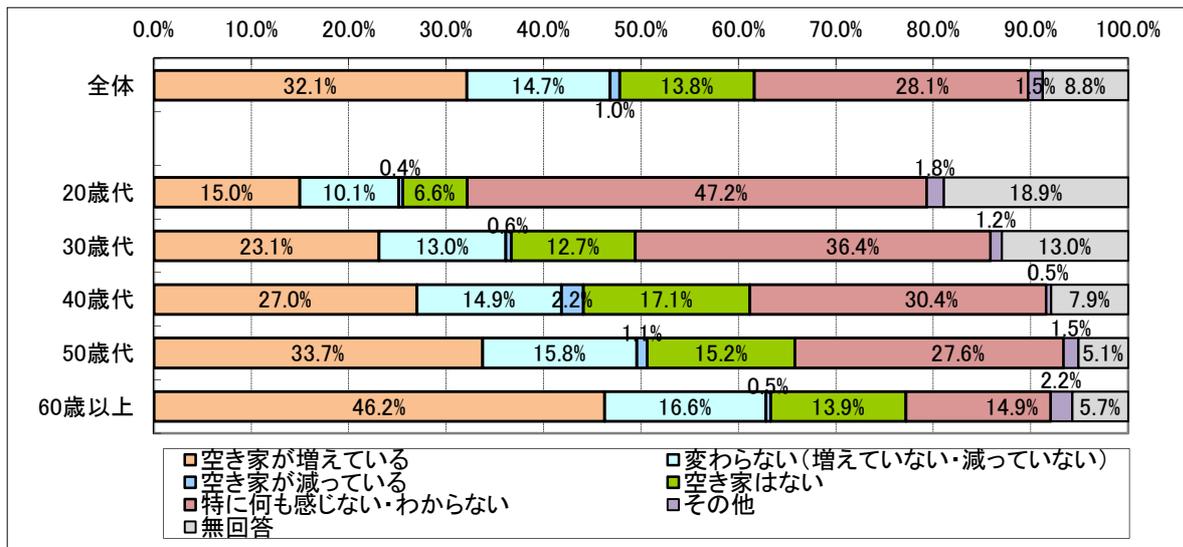
選 択 肢	回答数	構成比
空き家が増えている	656	32.1%
変わらない（増えていない・減っていない）	300	14.7%
空き家が減っている	20	1.0%
空き家はない	281	13.8%
特に何も感じない・わからない	574	28.1%
その他	31	1.5%
無回答	180	8.8%
合 計	2,042	100.0%



◆クロス集計1：周辺の空き家の状況【地域別】



◆クロス集計2：周辺の空き家の状況【回答者の年代別】



10. 今後の住宅施策

ポイント 市に期待する住宅施策は「災害に強い住まいの普及や防災対策」が最も多い

ポイント 長野市Ⅵでは「住宅の建替えやリフォームのための支援」が約47%

ポイント 高齢者のいる世帯では「高齢者や障害者が暮らしやすい住宅の供給」も多く、
子どものいる世帯では「子育てしやすい住まいに対する支援」も多い

- ・ 市に期待する住宅施策としては、「災害に強い住まいの普及や防災対策」が最も多く48.0%、次いで「高齢者や障害者が暮らしやすい住宅の供給」が41.7%となった。
- ・ 防災・防犯に関する施策、高齢者等に関する施策のほか、住宅の耐震診断・耐震改修、住宅の建替えやリフォーム等に関する支援施策、空き家に関する施策などが期待されている。
- ・ 地域別では、長野市Ⅰと長野市Ⅱ及び長野市Ⅲで「災害に強い住まいの普及や防災対策」が約50%となり、長野市Ⅵでは「住宅の建替えやリフォームのための支援」が47.0%と最も高い。
- ・ 年代別では、20～30歳代は「子育てしやすい住まいに対する支援」が最も高い。
- ・ 40歳代では、「災害に強い住まいの普及や防災対策」、50歳代、60歳以上では「高齢者や障害者が暮らしやすい住宅の供給」が最も高い。
- ・ 65歳以上の高齢者のいる世帯では、「高齢者や障害者が暮らしやすい住宅の供給」と「災害に強い住まいの普及や防災対策」が最も高く、「住宅の耐震診断や耐震改修への支援」も40%を超えている。
- ・ 15歳未満の子どものいる世帯では、「子育てしやすい住まいに対する支援」が最も高く、次いで「災害に強い住まいの普及や防災対策」と「犯罪に強い住まいの普及や防犯対策」が40%を超えている。

問 23 住宅施策に関して市に期待することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

◆全体集計（複数回答：有効回答数 2,042）

選 択 肢	回答数	構成比
世代・家族構成に応じた住宅選択がしやすい不動産市場づくり	308	15.1%
高齢者や障害者が暮らしやすい住宅の供給	852	41.7%
環境に優しい住まいの普及や住環境の整備	524	25.7%
災害に強い住まいの普及や防災対策	980	48.0%
犯罪に強い住まいの普及や防犯対策	781	38.2%
自然、文化財等に配慮した景観形成の促進	355	17.4%
住宅の耐震診断や耐震改修への支援	782	38.3%
住宅の建替えやリフォームのための支援	748	36.6%
マンションの適切な維持・管理に関する支援	145	7.1%
良質で多様な民間賃貸住宅の供給誘導	197	9.6%
多様な需要に対応した公的賃貸住宅の整備	191	9.4%
優良で長期に渡って住める住宅の普及	413	20.2%
空き家や空き部屋の有効活用への取組支援	668	32.7%
親や子どもとの近居に対する支援	333	16.3%
高齢者や障害者等の入居や住み替えの支援	470	23.0%
地域のつながりやコミュニティ形成の支援	385	18.9%
子育てしやすい住まいに対する支援	584	28.6%
住宅の確保に困っている方（住宅困窮者）への支援	294	14.4%
高齢者や障害者などが適切な生活支援サービスを利用できる環境の確保	590	28.9%
まちなか居住の促進	159	7.8%
移住・定住の促進	223	10.9%
住宅等に関する相談窓口の充実	242	11.9%
住宅等に関する情報提供の充実	240	11.8%
その他	44	2.2%
無回答	73	3.6%
合 計	10,581	-

◆クロス集計１：市に期待する住宅施策【地区別】

回答数が多い選択肢	長野市 Ⅰ	長野市 Ⅱ	長野市 Ⅲ	長野市 Ⅳ	長野市 Ⅴ	長野市 Ⅵ
高齢者や障害者が暮らしやすい住宅の供給	46.1%	42.7%	43.4%	40.0%	33.3%	42.7%
災害に強い住まいの普及や防災対策	① 50.2%	① 50.4%	① 50.2%	① 47.1%	① 43.6%	41.9%
犯罪に強い住まいの普及や防犯対策	43.7%	43.8%	34.3%	39.9%	32.7%	30.8%
住宅の耐震診断や耐震改修への支援	35.3%	42.4%	38.9%	37.4%	30.1%	44.4%
住宅の建替えやリフォームのための支援	34.0%	36.2%	39.1%	35.1%	34.0%	① 47.0%

※凡例 ①：各地区で最も多い回答、 ：各地区の回答数が多い上位3つ

◆クロス集計２：市に期待する住宅施策【回答者の年代別】

回答数が多い選択肢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
高齢者や障害者が暮らしやすい住宅の供給	31.3%	33.1%	41.8%	① 45.9%	① 47.6%
災害に強い住まいの普及や防災対策	53.5%	51.6%	① 48.0%	44.0%	47.3%
犯罪に強い住まいの普及や防犯対策	49.8%	44.7%	39.6%	33.1%	33.3%
住宅の耐震診断や耐震改修への支援	37.9%	34.0%	37.6%	37.8%	41.9%
住宅の建替えやリフォームのための支援	30.8%	36.0%	40.1%	40.4%	34.1%
子育てしやすい住まいに対する支援	① 56.8%	① 52.7%	28.5%	15.6%	14.2%

※凡例 ①：各年代で最も多い回答、 ：各年代の回答数が多い上位3つ

◆クロス集計3：市に期待する住宅施策【高齢者や子どものいる世帯別】

